HNR-WG シリーズ
取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 2.0 版

管理番号：TEC-25MA0299-02.0

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は，クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　　VCCI－A

改版履歴

第 1 版	2025 年 11 月 18 日	新規作成
第 1.1 版	2025 年 12 月 11 日	機能説明文変更、誤記修正
第 1.2 版	2026 年 01 月 29 日	ログイン時の注意事項追記 梱包物一覧修正 初期パスワード注意事項追記 P2P クラウド機能の説明追記
第 1.3 版	2026 年 03 月 26 日	4.基本設定 にビデオ入力の IP アドレス変更手順追加
第 2 版	2026 年 09 月 30 日	バージョン 10.9.217J に対応

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。
  これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
  お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等 十分な配慮をお願いします。
  *: 極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途

- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. はじめに 10
1.1. 製品概要 10
1.2. 特徴 10
1.3. 梱包物一覧 11
1.4. 製品外観 12
1.4.1. 4ch モデル：HNR-WG004 12
1.4.2. 8ch モデル：HNR-WG008 14
1.4.3. 16ch モデル：HNR-WG016 16
1.5. ポートおよび LED 18
1.5.1. 4ch モデル：HNR-WG004 18
1.5.2. 8ch モデル：HNR-WG008 19
1.5.3. 16ch モデル：HNR-WG016 20
1.6. 設置 21
2. 設定画面へのログイン 22
3. メニュー名称 25
4. 基本設定 26
4.1. IP アドレスの変更 26
4.2. ビデオ入力(PoE ポート)の IP アドレス変更 28
4.3. パスワードの設定 30
4.4. Onvif 対応カメラとの接続 33

4.5. RTSP での接続 35
4.6. 一括設定 36
4.7. ファームウェアのアップデート 38
4.8. HDD のフォーマット 41
5. 録画データ検索 43
5.1. 画面名称 44
5.2. 再生エリア 45
5.3. メニュー 46
5.3.1. サムネイルの使用方法 47
5.3.2. イベントの使用方法 49
5.4. イベント通知エリア 50
6. FUNC 51
6.1. 検索 52
6.2. バックアップ 52
6.3. ツール 55
6.3.1. PTZ 56
6.3.2. インスタント PTZ 57
6.3.3. カメラ設定 57
6.3.4. マルチ 57
6.3.5. シーケンス 57
6.3.6. カスタム設定 57
6.3.7. デジタルズーム 59
6.3.8. フリーズ 59

6.3.9.　スナップ写真 59
6.3.10.　マニュアルリレー 60
6.3.11.　緊急録画 60
6.3.12.　全イベント確認 60
6.3.13.　ブックマーク 60
6.4.　情報 61
6.4.1.　画面表示情報 62
6.4.2.　カメラ 63
6.4.3.　ネットワーク 63
6.4.4.　録画 63
6.4.5.　ディスク 64
6.4.6.　システム 64
6.4.7.　システムアラーム 64
6.5.　システム 65
6.5.1.　メニュー 65
6.5.2.　ロック 65
6.5.3.　ログアウト 66
6.5.4.　電源オフ 66
6.5.5.　再起動 66
7．マルチ 67
8．フリーズ 68
9．メニュー 69
9.1.　システム 69

9.1.1.　日付/時刻 69
9.1.2.　ディスク 70
9.1.3.　ユーザ設定 71
9.1.4.　ユーティリティ 73
9.1.5.　セットアップウィザードの使用方法 75
9.2.　ネットワーク 78
9.2.1.　ネットワーク 78
9.2.2.　サービス 80
9.2.3.　DDNS 82
9.2.4.　WRS 82
9.3.　デバイス 83
9.3.1.　カメラ 83
9.3.2.　PTZ 87
9.3.3.　モニタ 89
9.3.4.　音声 90
9.3.5.　テキスト 91
9.4.　イベント 92
9.4.1.　イベント 92
9.4.2.　モーション 98
9.4.3.　センサー 99
9.5.　録画 100
9.5.1.　録画モード 100
10.　Web 管理画面 103

10.1. ログイン方法 103
10.2. ライブ 105
10.2.1. チャンネル 105
10.2.2. キャプション 106
10.2.3. PTZ 107
10.2.4. オプション 109
10.3. 再生 110
10.3.1. 録画再生 111
10.3.2. 録画状況確認 112
10.3.3. オプション 113
10.3.4. チャンネル 114
10.3.5. 日付、時刻選択 115
10.4. 遠隔接続 116
10.5. IP カメラ管理画面表示 116
10.6. その他 116
11. 製品仕様 117
12. 通信ポートと使用目的 119
13. セキュリティに関するご注意 120
14. 困ったときには 121
15. 製品保証 122

1. はじめに

1.1. 製品概要

本製品は、IP カメラ映像のリアルタイム視聴機能と録画機能を備えたネットワーク・ビデオ・レコーダ(NVR)です。

監視カメラ映像の録画・検索・再生・バックアップ・遠隔監視を一元的に管理でき、各イベント契機の録画や動体検知時の通知など様々な設定が可能です。

1.2. 特徴

- 本製品から接続カメラの解像度変更が可能
- PoE でカメラへの電力供給可能
- H.264、H.265 のアルゴリズム対応
- 出力 4K、HDMI と VGA に対応
- 手動録画、スケジュール録画
- アラーム機能搭載
- カレンダー、ブックマーク、サムネイル等の多彩な検索機能
- HDD 録画
- 録画を止めずに検索が可能
- USB メモリでのデータ保存

1.3.　梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

■4ch モデル：HNR-WG004/8ch モデル：HNR-WG008

名　称	数　量
本体	1 台
マウス	1 個
AC アダプタ	1 個
AC ケーブル	1 個
ねじ(HDD 搭載モデル：1 種類)	4 個
ねじ(HDD 非搭載モデル：2 種類各 4 個)	8 個

■16ch モデル：HNR-WG016

名　称	数　量
本体	1 台
マウス	1 個
AC アダプタ	1 個
AC ケーブル	1 本
ねじ(HDD 搭載モデル：1 種類)	8 個
ねじ(HDD 非搭載モデル：2 種類各 8 個)	16 個
ラックマウント金具	2 個
ラックマウント用ねじ	2 個

1.4.　製品外観

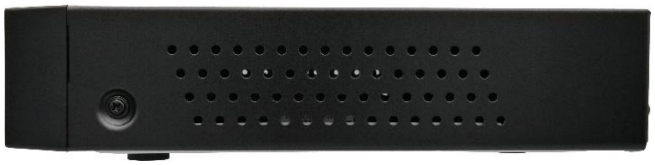
1.4.1.　4ch モデル：HNR-WG004

前面

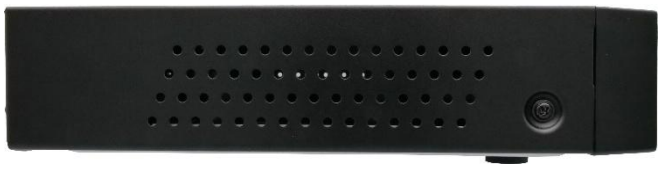
上面

底面

側面(右側面)



側面(左側面)



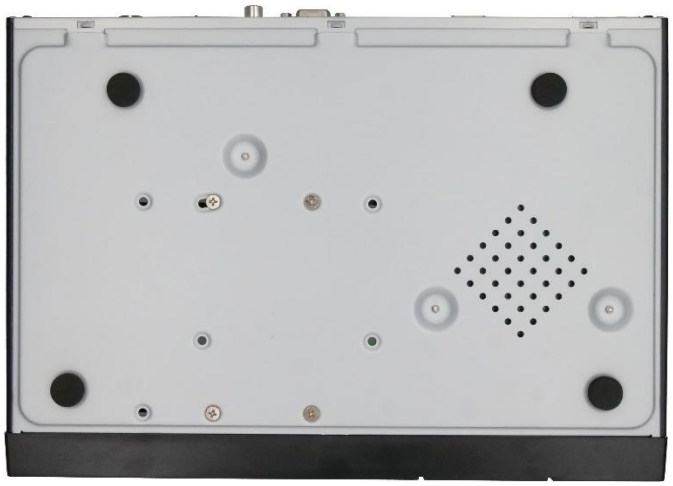
後面

1.4.2.　8ch モデル：HNR-WG008

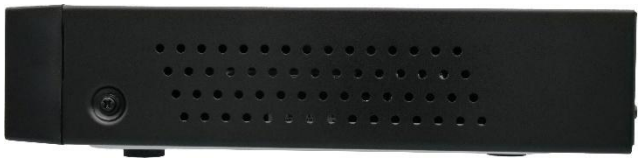
前面

上面

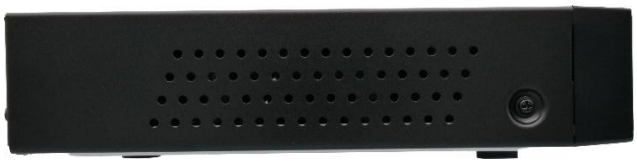
底面



側面(右側面)



側面(左側面)



後面

1.4.3.　16ch モデル：HNR-WG016

前面

上面

底面

側面(右側面)

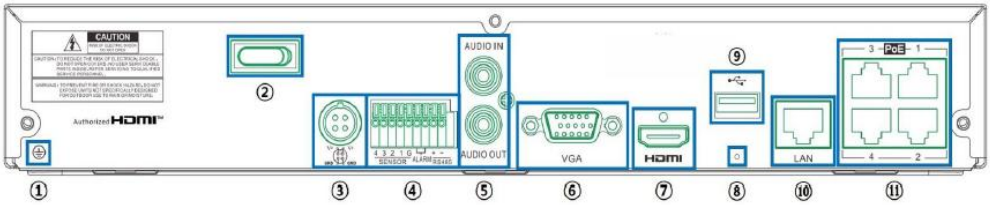
側面(左側面)

後面

1.5.　ポートおよび LED

1.5.1.　4ch モデル：HNR-WG004

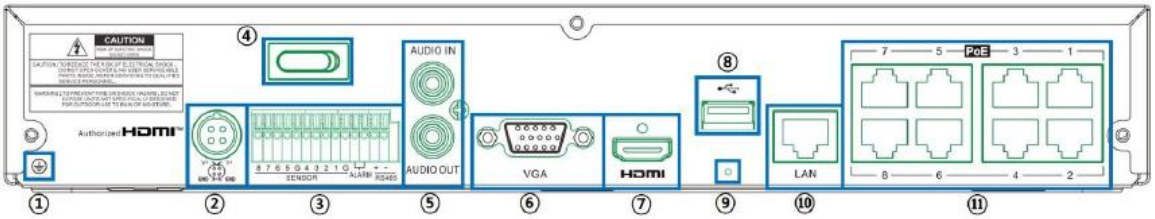
番号	名称	説明
1	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
2	PWR/REC	PWR：電源 ON 時に点灯します。 REC：録画が有効な場合に点灯します。



番号	名称	説明
1	Ground Connection	NVR をアースに接続するための端子。
2	POWER	電源 ON/OFF スイッチ。
3	DC 48V	DC 48V アダプタ用ポート。
4	SENSOR IN / ALARM OUT/ RS485	SENSOR IN：外部センサー入力ポート
		ALARM OUT：リレー接続ポート。
		RS485：通信ポートです。
5	LINE IN / AUDIO OUT	LINEINE：LINE（オーディオ）入力接続端子
		AUDIO OUT：スピーカー出力端子
6	VGA	VGA モニタ用の映像出力ポート。
7	HDMI	HDMI：メイン（HDMI）モニタ用の映像出力ポート。
8	RESET ※	すべての設定値を工場出荷時の状態に初期化します。 1）電源スイッチで電源を切り、リセットボタンを押しながら再度電源を入れます。 2）約 5 秒後にリセットボタンを離すと NVR が初期化されます。
9	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
10	LAN	「IP アドレス 1」用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
11	PoE PORTS	PoE IP カメラ用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
		PoE に接続された IP カメラの IP アドレスは同じネットワーク内にある必要があります。

1.5.2. 8ch モデル：HNR-WG008

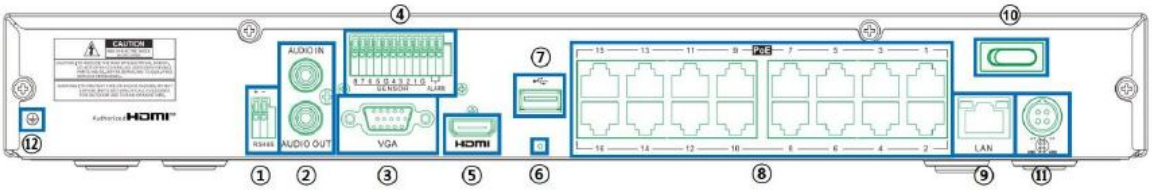
番号	名称	説明
1	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
2	PWR/REC	PWR：電源 ON 時に点灯します。 REC：録画が有効な場合に点灯します。



番号	名称	説明
1	Ground Connection	NVR をアースに接続するための端子。
2	DC 48V	DC 48V アダプタ用ポート。
3	SENSOR IN / ALARM OUT/ RS485	SENSOR IN：外部センサー入力ポート
		ALARM OUT：リレー接続ポート。
		RS485：通信ポートです。
4	POWER	電源 ON/OFF スイッチ。
5	LINE IN / AUDIO OUT	LINEINE：LINE（オーディオ）入力接続端子
		AUDIO OUT：スピーカー出力端子
6	VGA	VGA モニタ用の映像出力ポート。
7	HDMI	HDMI：メイン（HDMI）モニタ用の映像出力ポート。
8	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
9	RESET ※	すべての設定値を工場出荷時の状態に初期化します。 1）電源スイッチで電源を切り、リセットボタンを押しながら再度電源を入れます。 2）約 5 秒後にリセットボタンを離すと NVR が初期化されます。
10	LAN	「IP アドレス 1」用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
11	PoE PORTS	PoE IP カメラ用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
		PoE に接続された IP カメラの IP アドレスは同じネットワーク内にある必要があります。

1.5.3.　16ch モデル：HNR-WG016

番号	名称	説明
1	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
2	PWR/REC	PWR：電源 ON 時に点灯します。 REC：録画が有効な場合に点灯します。



番号	名称	説明
1	RS485	RS485 通信ポートです。
2	LINE IN / AUDIO OUT	LINEINE：LINE（オーディオ）入力接続端子
		AUDIO OUT：スピーカー出力端子
3	VGA	VGA モニタ用の映像出力ポート。
4	SENSOR IN / ALARM OUT	SENSOR IN：外部センサー入力ポート
		ALARM OUT：リレー接続ポート。
5	HDMI	HDMI：メイン（HDMI）モニタ用の映像出力ポート。
6	RESET ※	すべての設定値を工場出荷時の状態に初期化します。 1）電源スイッチで電源を切り、リセットボタンを押しながら再度電源を入れます。 2）約 5 秒後にリセットボタンを離すと NVR が初期化されます。
7	USB	USB メモリまたはマウス用の USB ポート。
8	PoE PORTS	PoE IP カメラ用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
		PoE に接続された IP カメラの IP アドレスは同じネットワーク内にある必要があります。
9	LAN	「IP アドレス 1」用のネットワーク接続端子（RJ-45）。
10	POWER	電源 ON/OFF スイッチ。
11	DC 48V	DC 48V アダプタ用ポート。
12	Ground Connection	NVR をアースに接続するための端子。

1.6.　設置

本製品は壁掛けに対応しておりませんので、水平面に配置してください。

本体への給電は付属の AC アダプタおよび AC ケーブルをご使用ください。

HDMI または VGA 対応のモニタと本製品を接続するケーブルをご準備ください。

各設定をおこなうために付属のマウスを USB ポートに接続してください。

※　操作はマウスで行います。文字の入力は以下のイメージのスクリーンキーボードでおこなってください。

【スクリーンキーボードイメージ】

Caps：大文字固定

Shift：大文字・記号の選択

←：一文字削除

2.　設定画面へのログイン

NVR の設定を行います。

初期設定時は本機の DHCP クライアント機能が有効になっているため、DHCP サーバが接続されたネットワークから切り離して設定することを推奨いたします。

※DHCP を使用しない場合の初期 IP アドレスは「192.168.0.5」となります。

一度 DHCP で IP アドレスを割り当てた場合は、初期 IP アドレスでのアクセスはできなくなります。直前で割り当てた IP アドレスでログインしてください。

1)　本製品を設置後、背面の電源を入れます。

起動音が鳴り、ロゴとメモリ等のチェック画面が表示されます。

2)　初期ログイン用の ID を使用し、初期パスワードを作成してログインをおこないます。

パスワードは大文字、小文字、数字、特殊文字から 3 種類以上の文字の組み合わせで 9 文字以上の規則を満たす必要があります。

初期 ID：admin、初期パスワードはログイン時に作成します。

※　本製品を安全にご利用いただくため、初めて管理画面にアクセスした際は、必ずお客様ご自身で新しい管理用パスワードを設定していただく必要があります。 パスワードを設定するまで、本製品の機能や設定画面はご利用いただけません。

3)　**ログイン成功後以下のような画面が表示されることを確認します。**

➢　**本製品のセキュリティ設定について**

本製品は、お客様のプライバシーと通信の安全を保護するため、以下のセキュリティ機能を備えています。

- **認証情報の保護**:　本製品に保存されるパスワードなどの認証情報や TLS の秘密鍵は、暗号化やアクセス制御により、不正な読み出しから保護されています。また、設定をエクスポートする際は、設定内のパスワード情報が AES-256 により暗号化されます。
- **暗号化通信の採用**:本製品と設定端末間の Web ブラウザ通信には、強固な暗号化プロトコル(HTTPS / TLS 1.2 以上)が使用されています。これにより、通信経路上のデータは暗号化され、第三者による情報の盗聴や改ざんを防止します。
- **ログイン失敗処理プロセス**:本製品は、外部からの不正アクセスや総当たり攻撃(パスワードを何度も試す攻撃)を防ぐためのセキュリティ機能を備えています。

  Web 管理画面でのログインにおいて、初期値ではパスワードの入力を「5 回連続」で間違えた場合、アカウントが安全のために 30 秒間ロック(無効化)されます。

  ローカル管理画面(モニタ接続)のログインにおいては「5 回連続」で間違えた場合、アカウントが安全のために 300 秒間ロック(無効化)されます。

3.　メニュー名称

各画面の名称やメニューの名称は以下の通りです。

【全体】

① ライブエリア

設定したカメラからの映像をリアルタイムで表示します。

② ステータスバー

接続する IP カメラや NVR 本体の設定、各ステータスの確認をおこないます。

【ステータスバー】

① 日時表示エリア

NVR 本体の日時と時刻を表示します。

② 各種アイコン表示エリア

録画中、モーション検出中、センサー発動などのアイコンを表示します。

③ HDD ステータス

HDD の容量、使用量などの状態を表示します。

④ 各設定

各機能を設定・変更するためのボタンが配置されたエリアです。

⑤ その他

NVR の音声入力の有効無効とステータスバーの時間経過非表示チェックおこないます。

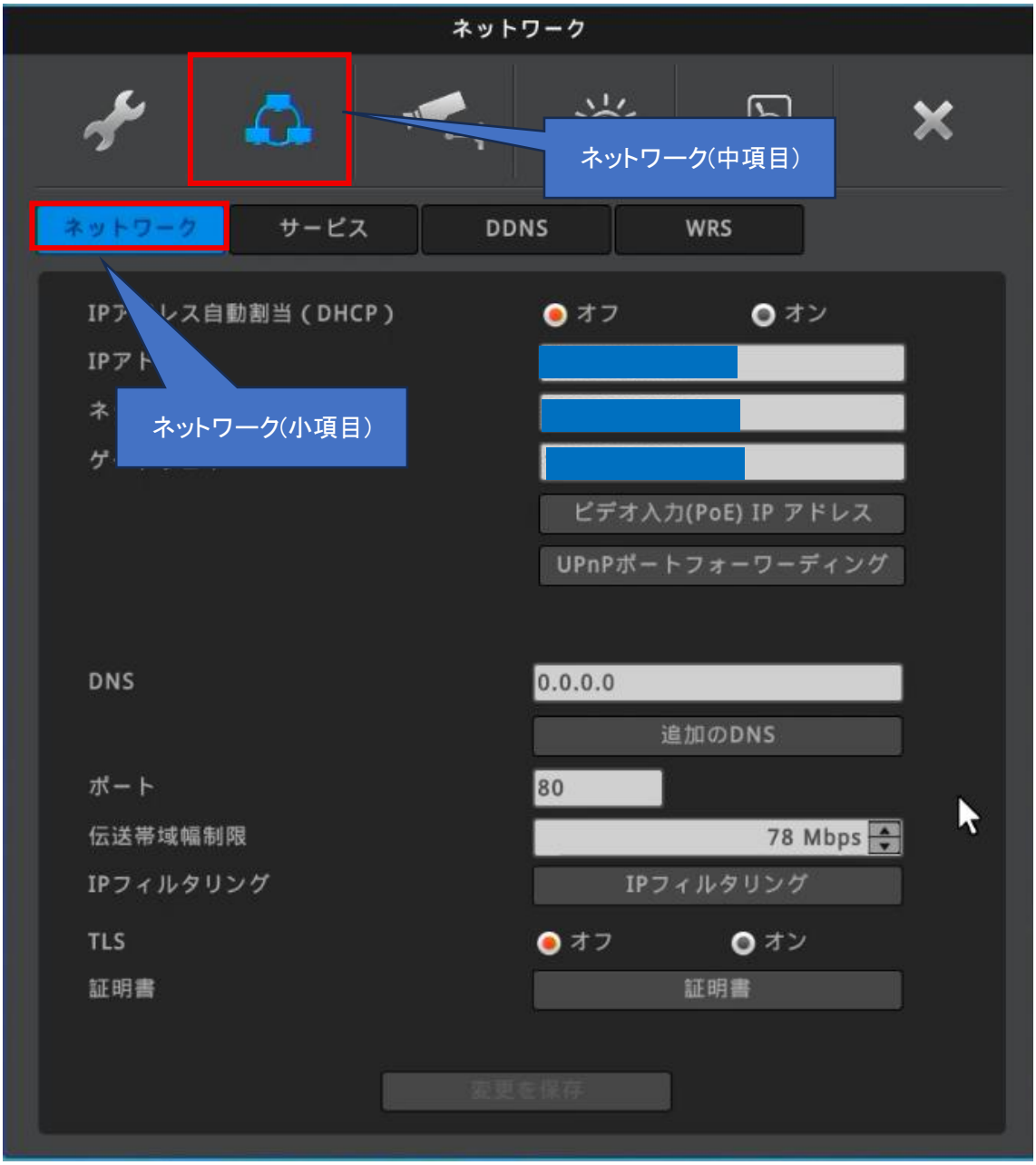
4.　基本設定

ログイン後の簡易初期設定手順を以下に記載します。

4.1.　IP アドレスの変更

① ステータスバーより[メニュー] > [ネットワーク](中項目) > [ネットワーク] (小項目)を選択します。

↓



② [IP アドレス]、[ネットマスク]、[ゲートウェイ]にネットワーク情報を入力します。

変更後に画面下部にある[変更を保存]ボタンを押下して設定が有効となります。

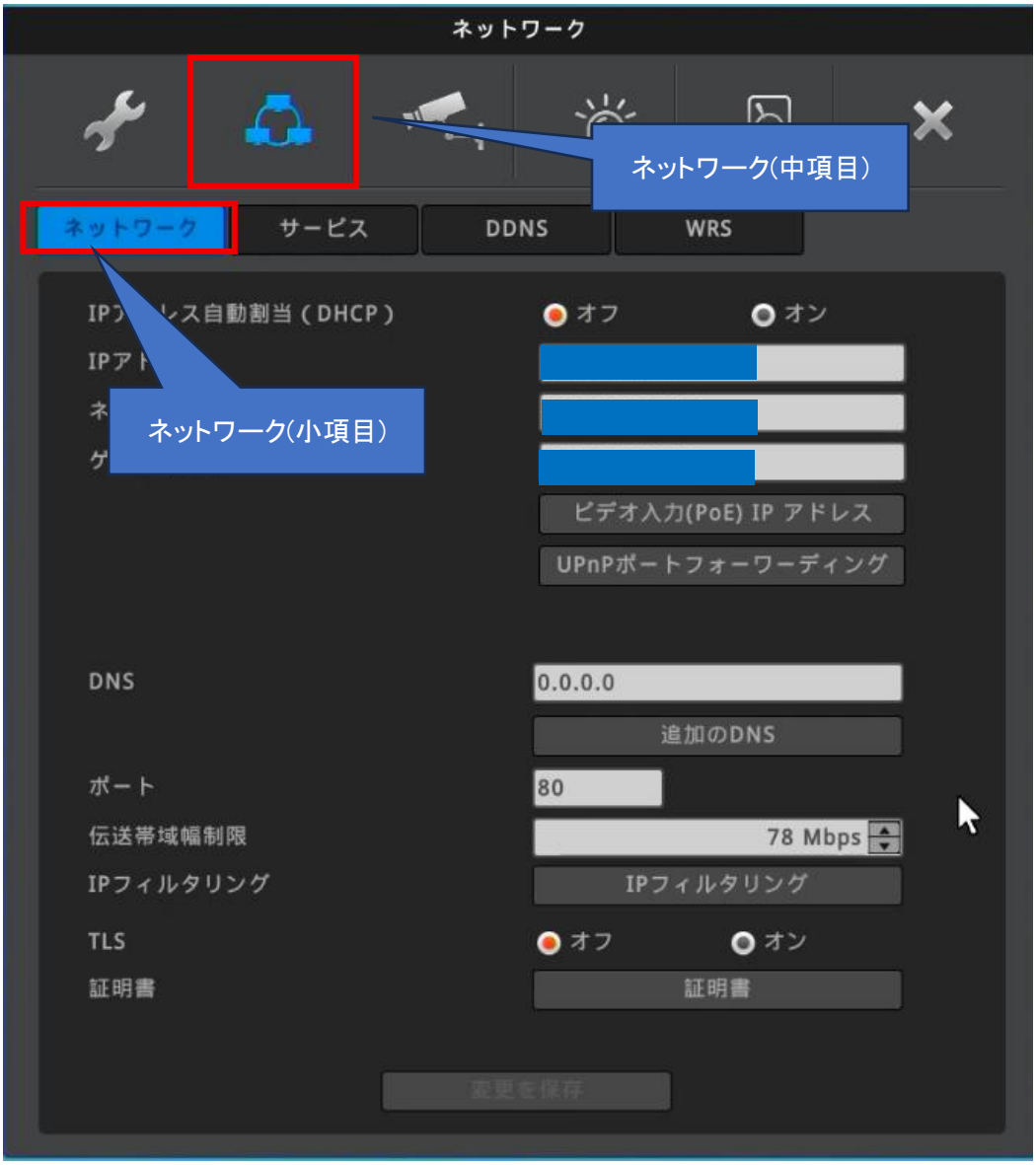
※IP アドレス変更で NVR 再起動等は起こりません。

4.2.　ビデオ入力(PoE ポート)の IP アドレス変更

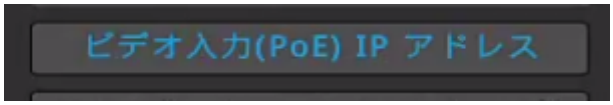
PoE から給電時にカメラに付与する IP アドレスのアドレス範囲を設定します。
こちらの機能を使用する場合は、9.3.1 章より[PoE ポートの自動 IP 設定」をオンにし、
カメラを DHCP に設定してから接続してください。
※カメラを固定 IP アドレスにし、NVR と同じネットワークにして PoE 給電のみの用途でも
　ご使用いただけます。その場合本章の設定は不要です。

① ステータスバーより[メニュー] > [ネットワーク](中項目) > [ネットワーク] (小項目)を選択します。

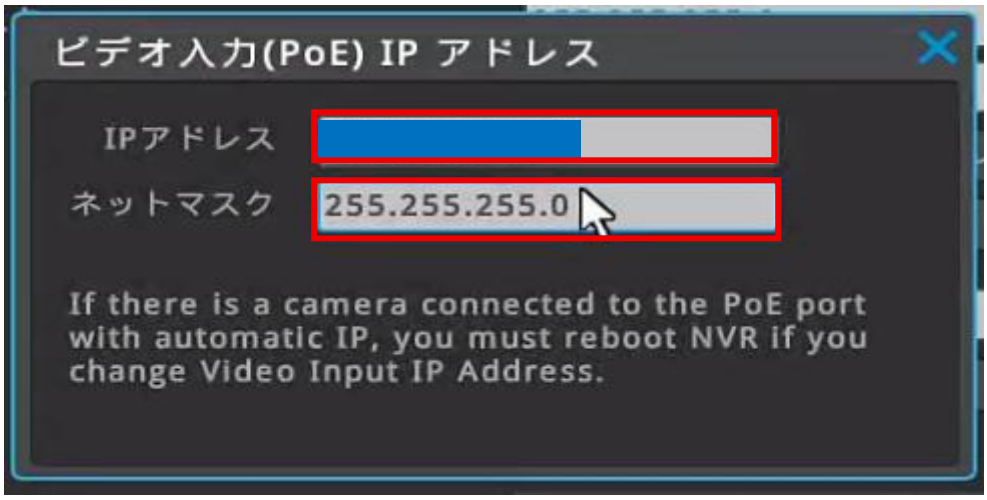
↓



② [ビデオ入力(PoE) IP アドレス]ボタンをクリックします。



③ [ビデオ入力(PoE) IP アドレス]のポップアップが表示されるので、IP アドレス、ネットマスクの欄に PoE 接続のカメラに付与したい IP アドレスを入力します。



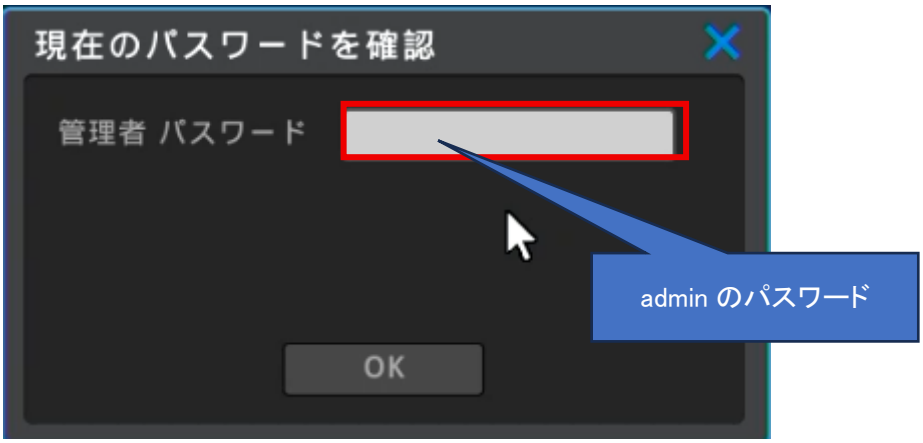
4.3.　パスワードの設定

① ステータスバーより[メニュー] > [システム] > [ユーザ設定]を選択します。

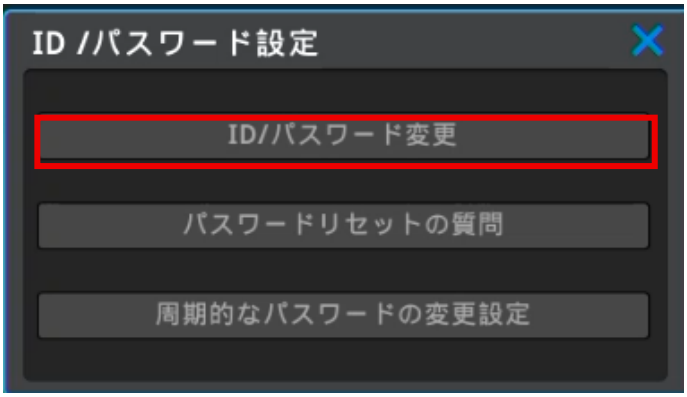
↓

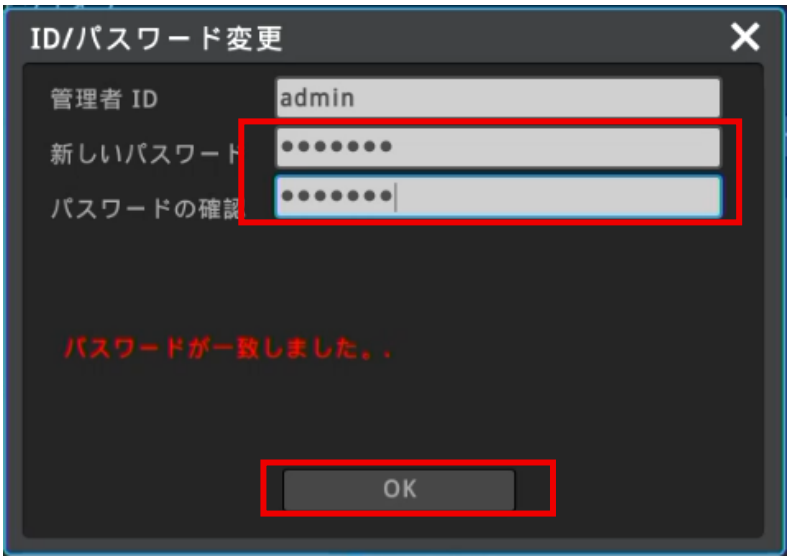
② ユーザ選択で[admin]を選択し、[ID/パスワード設定]ボタンを押下します。

※現在のパスワードを確認で admin のパスワードを入力します。

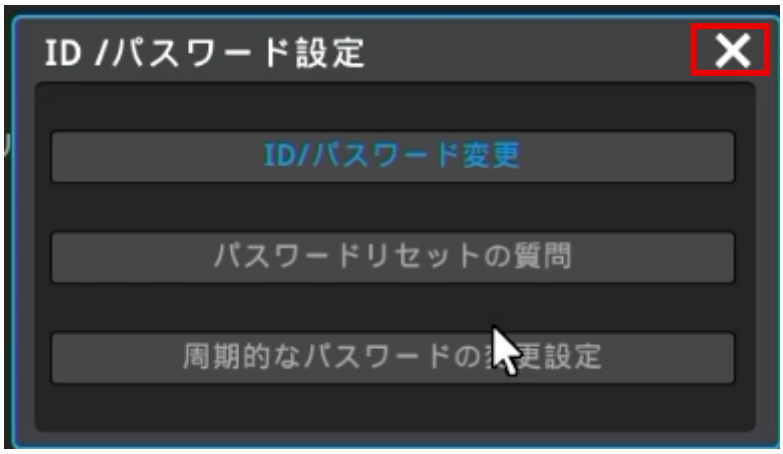


③ [ID/パスワードの変更]画面で新しいパスワードを設定して[OK]を押下します。





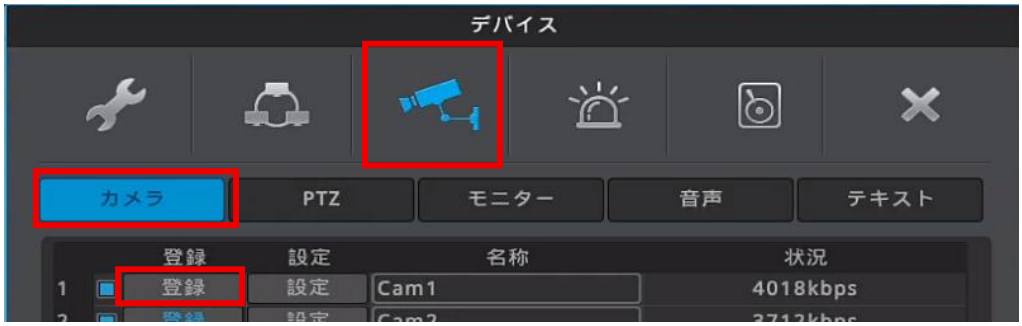
④　③の[ID/パスワード変更]ウィンドウが閉じた後に、[ID/パスワード設定]ウィンドウの右上の×ボタンを押下してメニューを閉じます。



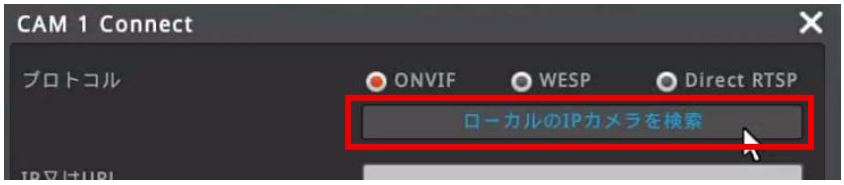
⑤　メニュー下部の[変更を保存]ボタンを押下すると新パスワードが反映されます。

4.4. Onvif 対応カメラとの接続

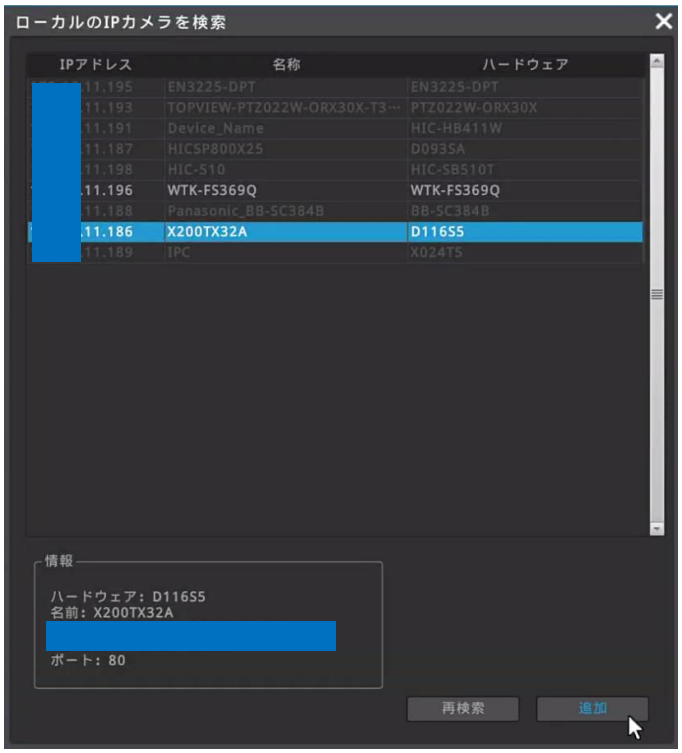
① ステータスバーより[メニュー] > [デバイス](中項目) > [カメラ] (小項目)を選択し、追加したい CH 番号の[登録]ボタンをクリックします。



② [ローカルの IP カメラを検索]をクリックします。

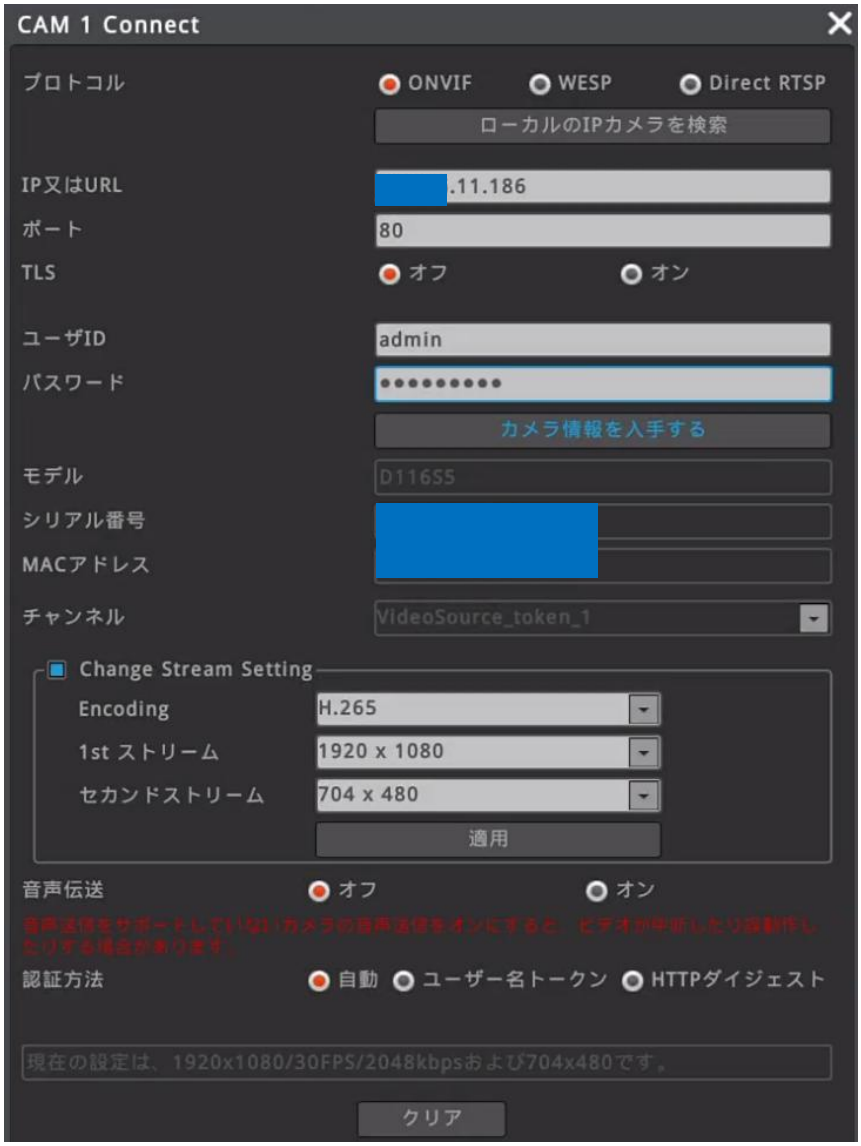


③ 同じネットワークに接続されている Onvif カメラの一覧が表示されますので、接続したいカメラを選択し、画面右下の[追加]ボタンをクリックします。



④ IP アドレスおよびポートが自動入力されますので、ユーザ ID とパスワードを入力し、[カメラ情報を入手する]をクリックすると、モデル/シリアル番号等が表示されることを確認し、右上の×ボタンでウィンドウを閉じます。

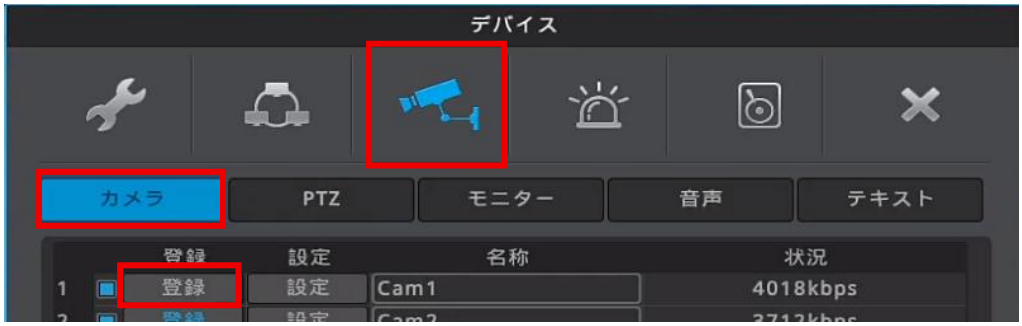
※ ストリームの解像度を変更する場合は、Change Stream Setting 内の適用ボタンをクリックします。



⑤ カメラ一覧の画面で[変更を保存]ボタンをクリックします。

4.5.　RTSP での接続

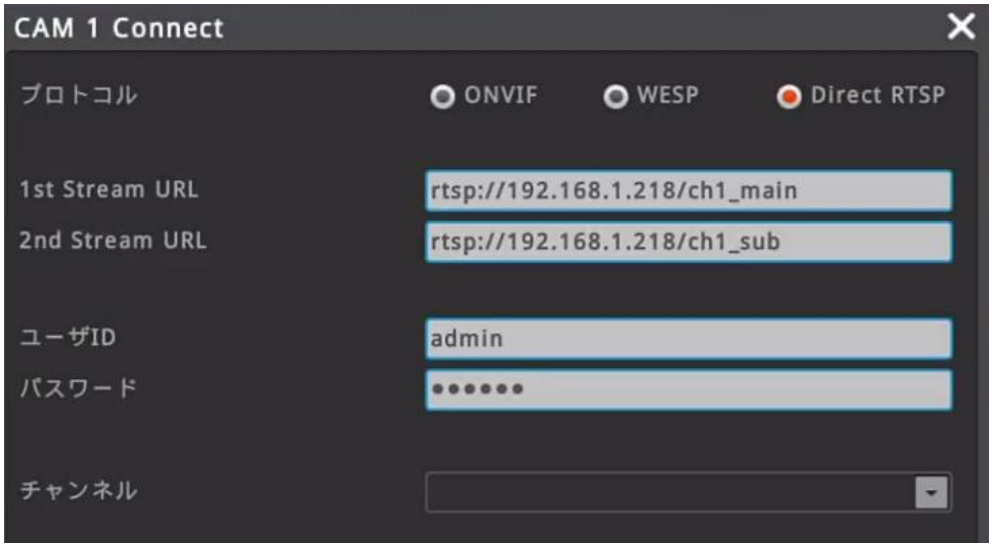
① ステータスバーより[メニュー] > [デバイス](中項目) > [カメラ] (小項目)を選択し、追加したい CH 番号の[登録]ボタンをクリックします。



② プロトコルにて[Direct RTSP]を選択し、1st/2nd Stream URL に RTSP ストリームの URL を入力します。

認証が必要な場合はユーザ ID とパスワードを入力します。

※　1st Stream のみでの接続は出来ません、必ず 2nd Stream も必要になります。



③ カメラ一覧の画面で[変更を保存]ボタンをクリックします。

4.6.　一括設定

※USB メモリを使用しますのでご用意ください。

カメラ情報およびカメラ名称を一括で登録・変更することが可能です。
こちらの手順をおこなうと既に設定してある情報が上書きとなるためご注意ください。

【カメラ情報の一括設定手順】

① 新規テキストファイルを作成し、ファイル名を「wgi_onvif_ipcam_cfg.txt」にします。
　※ファイル名は固定です。
　※文字コードは「UTF-8」に設定してください。

②下記の表の値をセミコロン(:)区切りで設定します。

No	名称	説明
1	チャンネル	chX(X:チャンネル数)のイメージで設定してください。
2	IP 又は URL	IPv4 のカメラの IP アドレスを設定してください。
3	ポート	「80」固定でご使用ください。
4	TLS	「0」固定でご使用ください。
5	ユーザ ID	カメラのユーザ ID を設定してください。
6	パスワード	カメラのパスワードを設定してください。
7	-	「0」固定でご使用ください。
8	Change Stream setting	「1」固定でご使用ください。
9		「0」固定でご使用ください。

〇記入例 1：単一チャンネル変更

Ch1：IP アドレス：192.168.0.XXX、ID：admin、パスワード：12345

```
ch1:192.168.0.XXX:80:0:admin:12345:0:1:0
```

〇記入例 2：複数チャンネル変更

Ch1：IP アドレス：192.168.0.YYY、ID：admin、パスワード：11111
Ch4：IP アドレス：192.168.0.ZZZ、ID：admin、パスワード：44444

```
ch1:192.168.0.YYY:80:0:admin:11111:0:1:0
ch4:192.168.0.ZZZ:80:0:admin:44444:0:1:0
```

※1 つのチャンネルを 1 行で記載してください。

③ USB メモリに「wgi_onvif_ipcam_cfg.txt」ファイルを保存し、NVR の USB ポートに差し込みます。
④ NVR から「ピーッ」と音が鳴り、設定が適用されます。
音が鳴り終わってから USB メモリを NVR から取り外してください。

【カメラ名称の一括設定手順】
① 新規テキストファイルを作成し、ファイル名を「wgi_channel_name.txt」にします。
※ファイル名は固定です。
※文字コードは「UTF-8」に設定してください。
② “[チャンネル名]:[表示文字]”
の書式で設定したいチャンネルに対応する名称を記入します。

〇記入例 1：単一チャンネル名変更

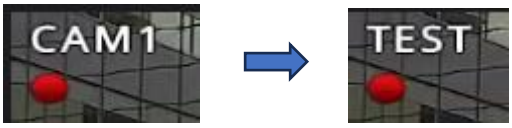
```
CH1:TEST
```

〇記入例 2：複数チャンネル名変更

```
CH1:TEST
CH4:入口
```

※1 つのチャンネルを 1 行で記載してください。
※最大 20 文字となります。文字数制限を超過しないようご注意ください。
③ USB メモリに「wgi_channel_name.txt」ファイルを保存し、NVR の USB ポートに差し込みます。
④ NVR から「ピーッ」と音が鳴り、設定が適用されます。
音が鳴り終わってから USB メモリを NVR から取り外してください。

〇記入例 1 の適用イメージ



4.7.　ファームウェアのアップデート

本機のファームウェアをアップデートする手順について説明します。

ご注意

アップデート中及びアップデート後の再起動中は、本機の電源を切ったり、ネットワーク接続を切断したりしないでください。また、アップデートが完了するまで、本機の操作を行わないでください。

① 本機の設定画面で、「メニュー」＞「ネットワーク」＞「サービス」を開き、「遠隔アップグレード」をオンにします。

② 当社ホームページから、対象機種に対応するファームウェアの ZIP ファイルをダウンロードし、展開します。

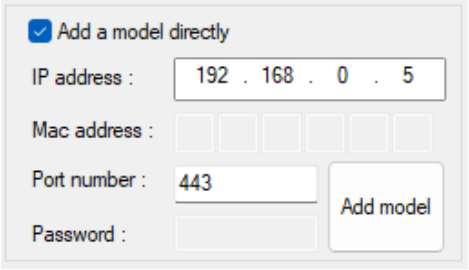
③ 展開したフォルダー内の「NetworkUpgrader_v3.1.0.exe」を起動します。

名前	状態	更新日時	種類	サイズ
ndvr_nbnh1n4p4v3_10.9.217J.dat		2026/09/29 10:17	DAT ファイル	72,990 KB
ndvr_nbnh1n8p8v3_10.9.217J.dat		2026/09/29 10:17	DAT ファイル	73,003 KB
ndvr_nbnh2n16p16v3_10.9.217J.dat		2026/09/29 10:17	DAT ファイル	73,052 KB
NetworkUpgrader_v3.1.0.exe		2026/09/29 10:17	アプリケーション	4,520 KB

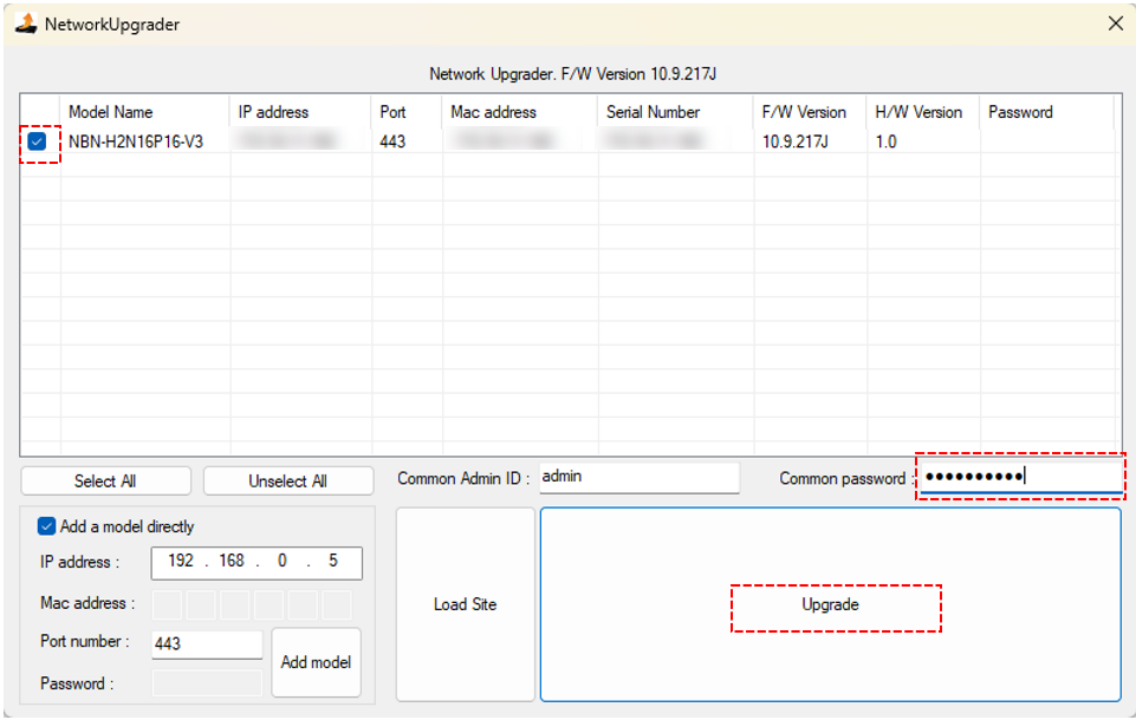
④ ファイル選択画面で、対象機種に対応する更新ファイルを選択し、「開く」をクリックします。以下は、バージョン 10.9.217J のファイル名の例です。バージョンによりファイル名は異なります。

対象機種	更新ファイル名
HNR-WG004	ndvr_nbnh1n4p4v3_10.9.217J.dat
HNR-WG008	ndvr_nbnh1n8p8v3_10.9.217J.dat
HNR-WG016	ndvr_nbnh2n16p16v3_10.9.217J.dat

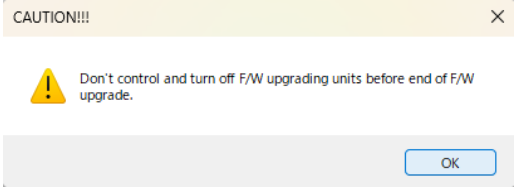
⑤ 画面左下の「Add a model directly」を選択します。「IP address」に本機の IP アドレス、「Port number」に本機で設定されている接続ポート番号を入力し、「Add model」をクリックします。



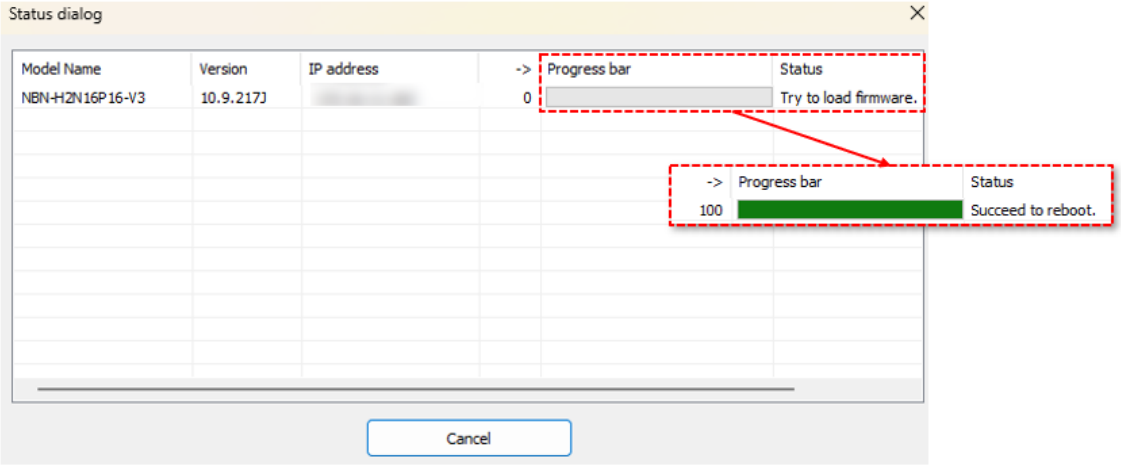
⑥ 画面上部の一覧に対象の NVR が表示されたことを確認し、「Model Name」の左側のチェックボックスを選択します。
IP アドレス等を確認し、更新対象に間違いがないことを確認してください。
「Common Admin ID」と「Common password」に管理者のユーザーID 及びパスワードを入力し、「Upgrade」をクリックします。
掲載画面の例では、ポート番号に「443」を指定しています



⑦ アップデート中の操作及び電源切断に関する注意メッセージが表示されます。内容を確認し、「OK」をクリックします。



⑧ アップデートが開始されます。「Progress bar」が 100%となり、正常終了を示すステータスが表示されたことを確認します。本機はアップデート後、自動的に再起動します。



⑨ 再起動完了後、本機のバージョン情報画面を開き、適用したファームウェアのバージョンが表示されることを確認します。

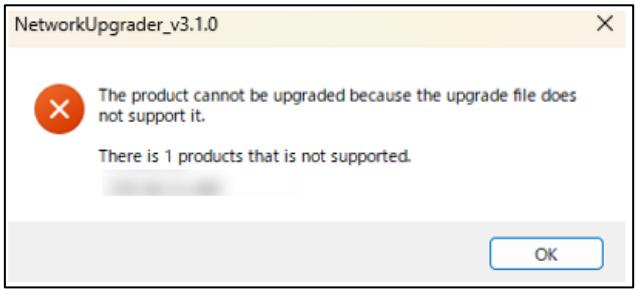
更新ファイルの検証について

本機は、更新ファイルを適用する前に、RSA デジタル署名及び SHA-256 ハッシュを用いて、ファイルの完全性及び真正性を検証します。

更新ファイルの内容から再計算したハッシュ値を、公開鍵を用いた署名検証により確認します。

署名がないファイル、検証に対応していない旧形式のファイル、又は検証に失敗したファイルは適用せず、アップデートを中止します。

更新ファイルが対象製品に対応していない場合などにも、下図のようにエラーが表示されることがあります。エラーが表示された場合は、対象機種と更新ファイルの組み合わせを確認し、必要に応じて当社配布のファイルを再度ダウンロードしてください。



更新後のファームウェアについて

更新したファームウェアは、電源を切った後も保持されます。工場出荷時設定への初期化や HDD のフォーマットを行っても、ファームウェアのバージョンが更新前の状態に戻ることはありません。

4.8.　HDD のフォーマット

本機に搭載された HDD をフォーマットし、録画データを消去する手順について説明します。

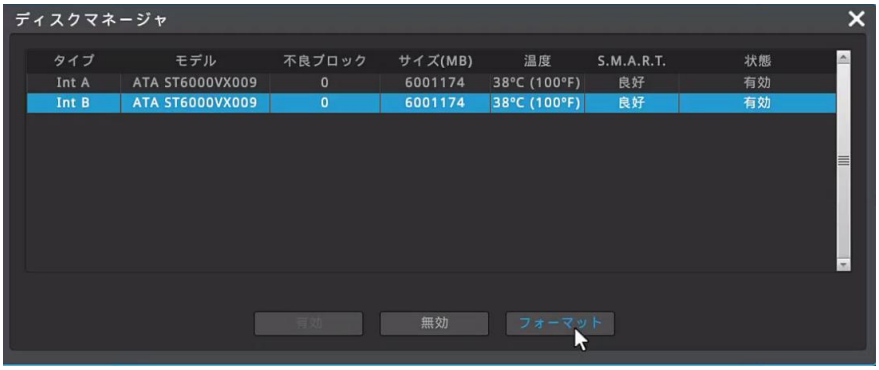
本機を工場出荷時設定に戻しても、HDD 内の録画データは消去されません。録画データを消去する場合は、以下の手順で HDD をフォーマットしてください。

ご注意

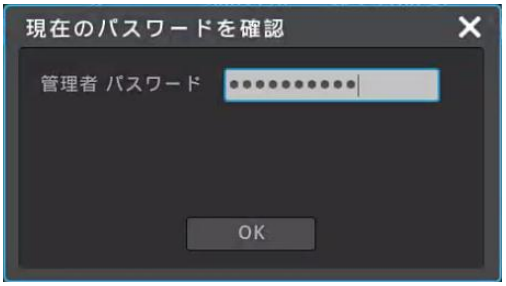
フォーマットすると、選択した HDD 内の録画データが消去されます。必要な録画データは、あらかじめバックアップしてください。また、フォーマット対象の HDD に間違いがないことを確認してください。

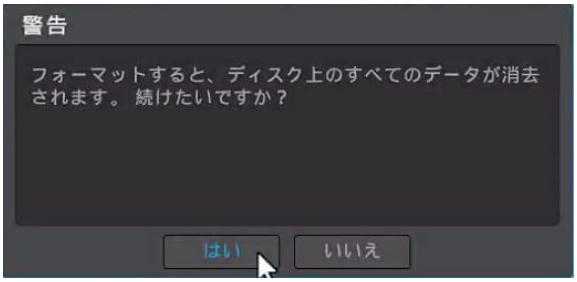
① 本機の設定画面で、「メニュー」＞「システム」＞「ディスク」を開き、「ディスクマネージャ」をクリックします。

② フォーマットする HDD を選択し、「フォーマット」をクリックします。

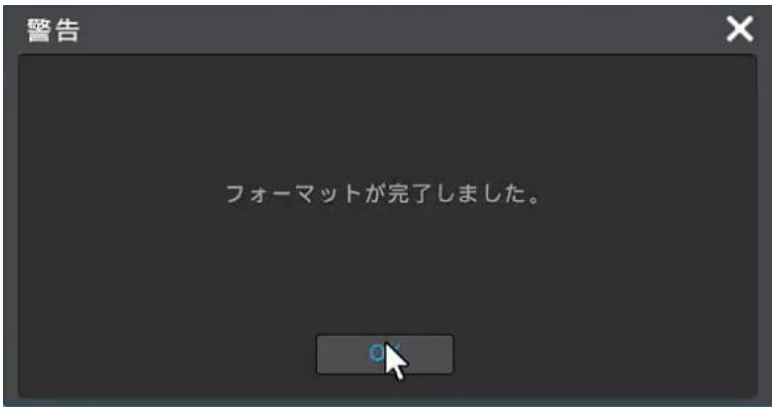


③ ログインパスワードを入力し、「OK」をクリックします。確認画面が表示されたら、対象を確認して「はい」をクリックします。





④ 「フォーマットが完了しました。」と表示されたことを確認し、「OK」をクリックします。



⑤ 録画検索・再生画面で、対象 HDD に保存されていた録画データが検索・再生できなくなったことを確認します。複数の HDD を搭載している場合は、消去対象の各 HDD について同じ操作を行ってください。

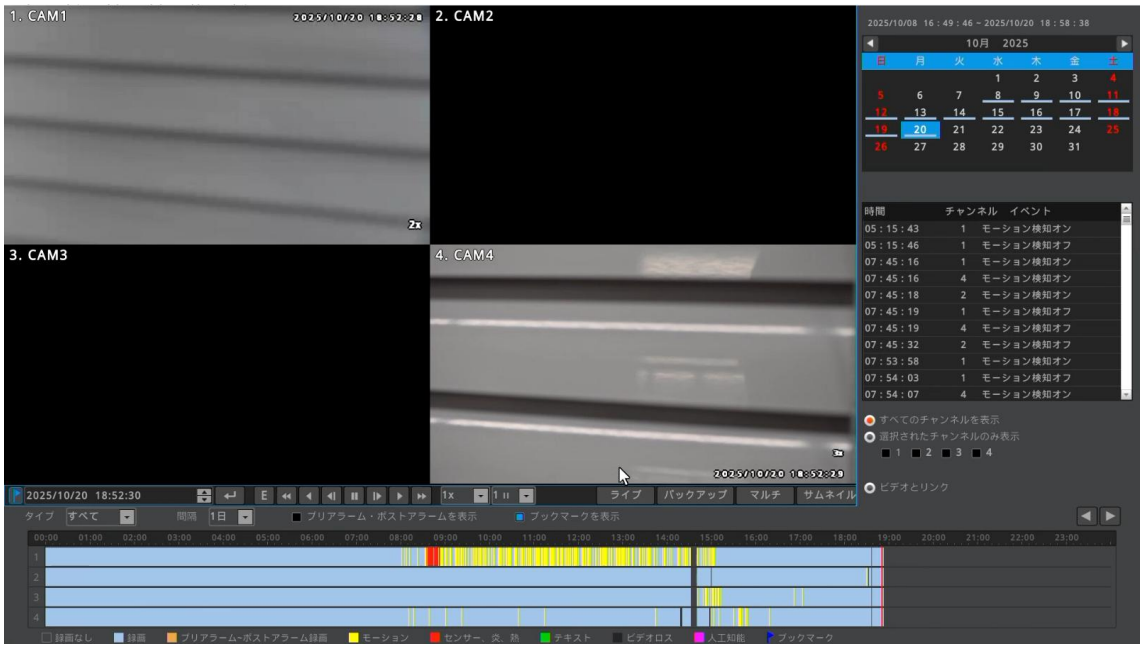
5.　録画データ検索

本章では NVR の録画データの検索方法を記載します。

録画してあるデータを HDD から検索します。

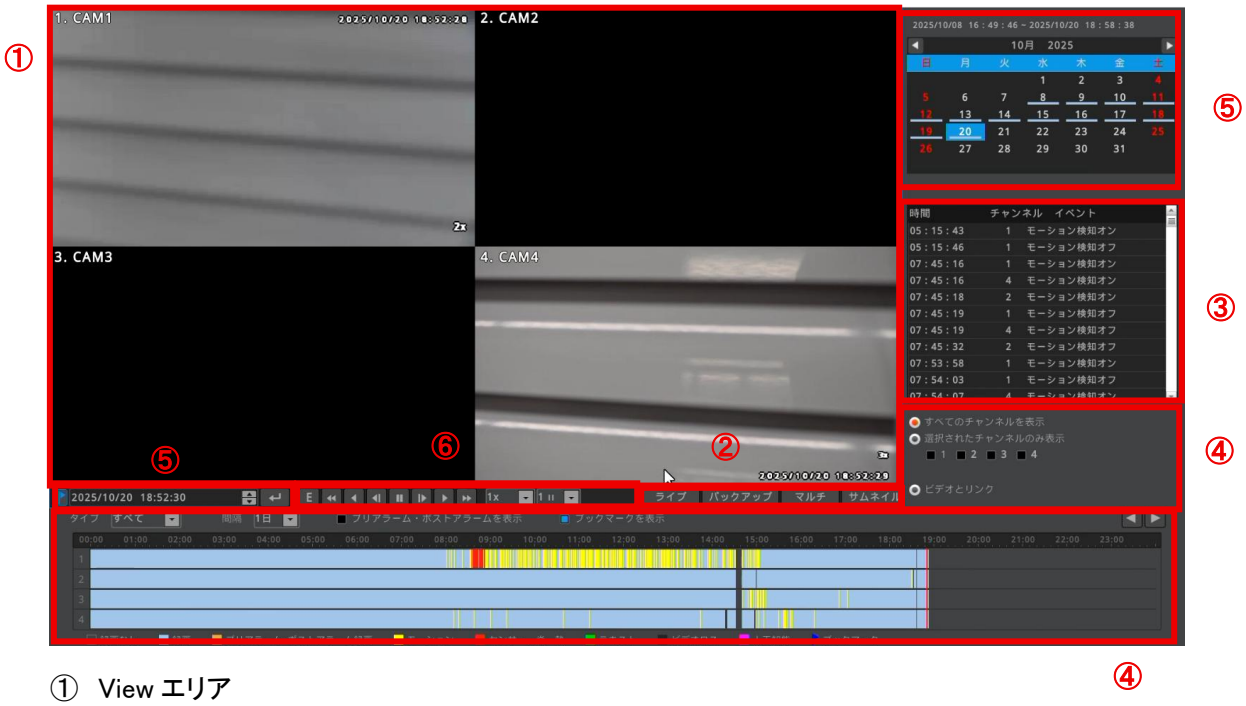
ステータスバーの[検索]ボタンを押下して使用します。

↓



5.1.　画面名称

録画データ検索エリアの画面名称を以下に記載します。



④

① View エリア

再生中の録画データを表示します。

② メニュー

録画データの各機能を使用するメニューエリアです。

③ イベント通知エリア

録画データのイベントを表示します。

④ タイムスライスエリアとチャンネル表示切替

録画データの再生位置や移動等をおこないます。

⑤ 日時検索エリアとカレンダー

日付を入力して録画データを検索します。

⑥ 再生エリア

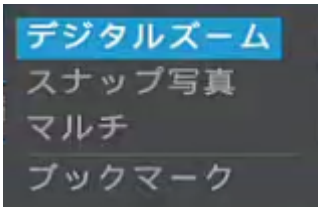
録画の再生・停止等の操作をおこないます。

5.2.　再生エリア

録画データの再生・逆再生をおこないます。

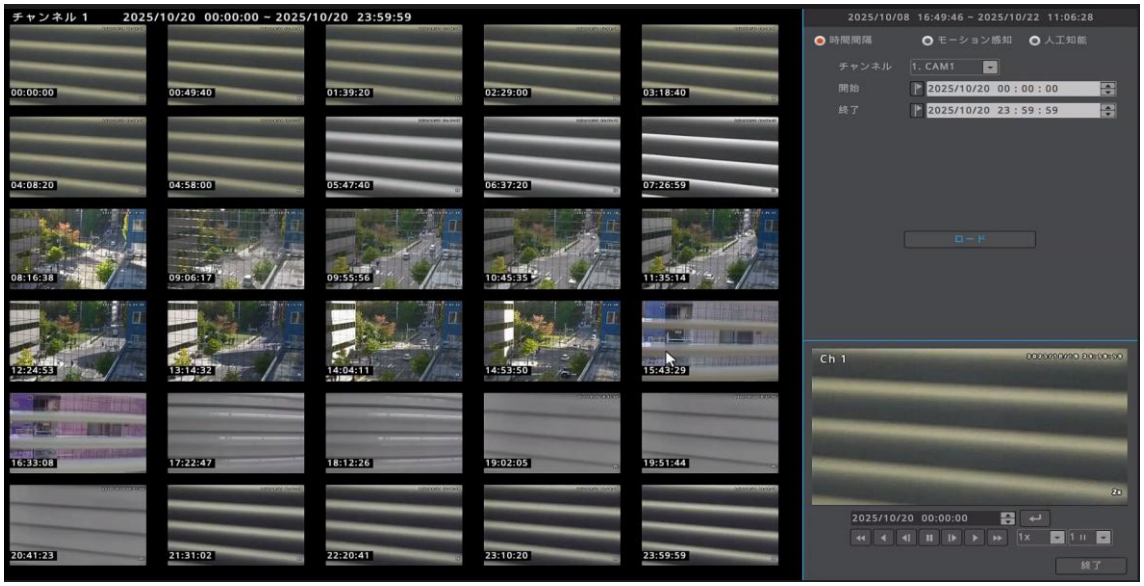
ボタン	名称	説明
E	イベントボタン	イベントがある動画のみ再生します。 再生・逆再生と組み合わせてご使用ください。
▶▶	再生速度調整ボタン	クリックするたびに再生の速度が上がります。
◀◀	逆再生速度調整ボタン	クリックするたびに逆再生の速度が上がります。
▶	再生ボタン	録画の再生をおこないます。
◀	逆再生ボタン	録画の逆再生をおこないます。
I▶	ステップ再生ボタン	録画データのコマ送り再生をおこないます。
◀I	ステップ逆再生ボタン	録画データのコマ送り逆再生をおこないます。
II	一時停止ボタン	再生中の動画を一時停止します。
1x	再生速度変更	録画の再生・逆再生の速度を変更します。
1 II	ステップ数変更	ステップ再生・逆再生のステップ数を変更します。
▶	再生状況エリア	再生中・逆再生中に青い再生マークを表示します。

5.3.　メニュー

名称	説明
ライブ	ライブ画面（ログイン直後の画面）に遷移します。
FUNC	各機能を使用します。 ※View エリアの任意の場所を右クリックで同様の機能がご使用いただけます。 ■ライブ ログイン直後の画面に遷移します。 ■バックアップ 録画データのバックアップをおこないます。 手順は 6.2 章をご確認ください。 ■フルスクリーン View エリアを全画面表示します。 戻る場合は[FUNC]メニューから[検索]を選択します。 ■サムネイル 録画データからサムネイル画像を作成し、視覚的に録画データを検索することができます。 手順は 5.3.1 章をご確認お願いします。 ■ツール 各ツール機能を使用できます。 【メニューイメージ】 
サムネイル	録画データからサムネイル画像を作成し、視覚的に録画データを検索することができます。手順は 5.3.1 章をご確認お願いします。
イベント	時間帯と対象カメラ、イベントの種類を指定してイベントが発生した時の日時を検索する機能です。手順は 5.3.2 章をご確認お願いします。

5.3.1.　サムネイルの使用方法

録画データからサムネイル画像を作成し、視覚的に録画データを検索することができます。



【手順】

サムネイル作成基準を選択します。

時間間隔：指定時間を等間隔に 30 等分してサムネイル画像を作成します。

モーション検知：モーションを検知した瞬間でサムネイル画像を作成します。

人工知能：本機能は未サポートのためご利用になれません。

① 時間間隔の場合

[チャンネル]にサムネイル作成対象のチャンネルを選択、[開始]欄と[終了]欄に作成期間を入力します。

[開始]および[終了]の時刻は変更したい箇所をマウスカーソルでクリック後に枠の右側のスピンボタンで数値を変更してください。

入力欄の左側の旗のマークからブックマーク日時を入力することもできます。

※ブックマークの設定方法は 6.3.13 章をご確認ください。

入力完了後、[ロード]ボタンをクリックすると画面の左側にサムネイル画像が作成されます。

※動画の開始・終了処理のタイミングにより、一部うまく生成されない場合がございます。

② モーション検知の場合

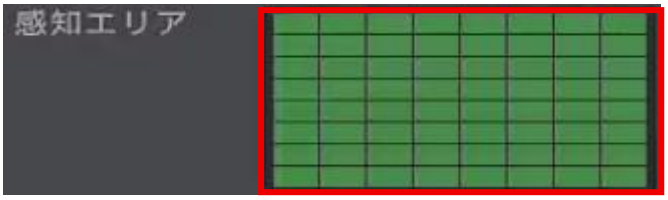
[チャンネル]にサムネイル作成対象のチャンネルを選択、[開始]欄と[終了]欄に作成期間を入力します。

[チェック間隔]欄にモーションをチェックする間隔を設定します。

[感知エリア]にモーションを検知したいエリアを設定します。

【設定方法】

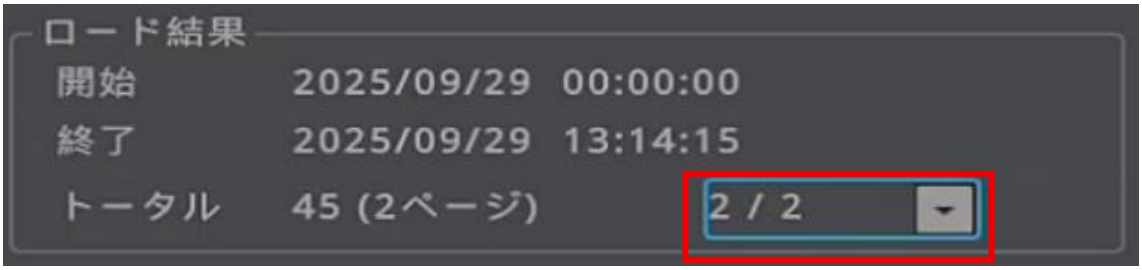
感知エリアをクリックします。



色を反転したいエリアの四角の対角線 2 点をクリックします。

緑：検知対象、グレー：検知非対象

[ロード]ボタンをクリックすると画面の左側にサムネイル画像が作成され、ロード結果が表示されます。チェック間隔時間やモーションが多い動画の場合複数ページにわたってサムネイルが作成されるため、必要に応じてページ送りでご使用ください。



【動画確認】

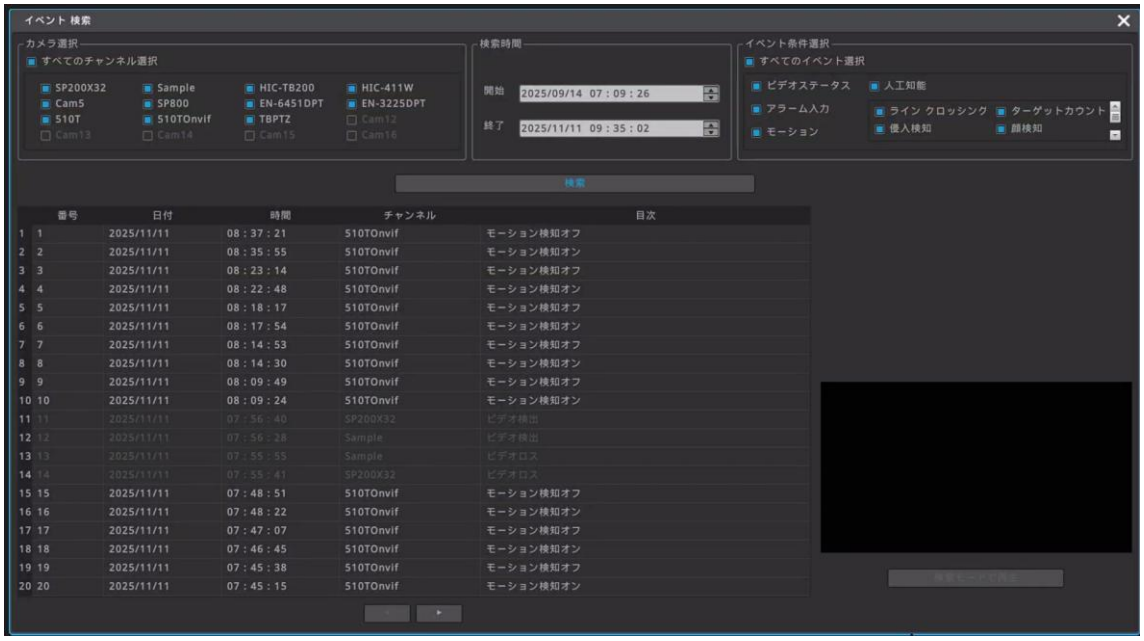
サムネイルを選択し、右下のエリアで視聴できます。

【終了】

サムネイル機能を終了したい場合は、画面右下の終了ボタンをクリックしてください。

5.3.2.　イベントの使用方法

時間帯と対象カメラ、イベントの種類を指定してイベントが発生した時の日時を検索する機能です。



[検索]をクリックすると対象イベントの一覧が表示されます。
※ページ数が多いときは確認したい時刻をページ送りでご確認ください。

視聴したいイベントを画面右下の再生エリアで確認することができます。
画面エリアをクリックしてご利用ください。

戻るには右上の×か[検索モードで再生]をクリックしてください。

5.4.　イベント通知エリア

録画データで検知したイベントを表示します。

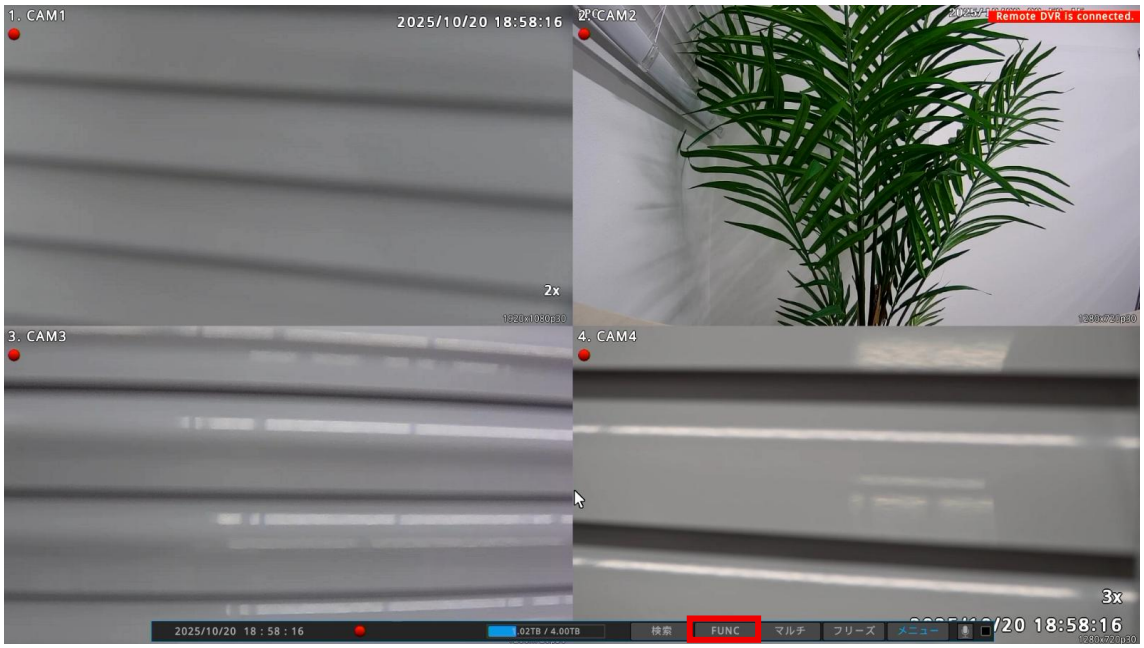
時間	チャンネル	イベント
05：15：43	1	モーション検知オン
05：15：46	1	モーション検知オフ
07：45：16	1	モーション検知オン
07：45：16	4	モーション検知オン
07：45：18	2	モーション検知オン
07：45：19	1	モーション検知オフ
07：45：19	4	モーション検知オフ
07：45：32	2	モーション検知オフ
07：53：58	1	モーション検知オン
07：54：03	1	モーション検知オフ
07：54：07	4	モーション検知オン

確認したいイベントをダブルクリックすると、検索エリアに日時が適用されます。
横の決定ボタン ↵ をクリックして映像を確認できます。

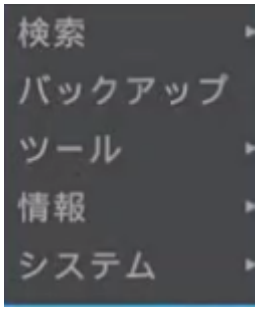
6.　FUNC

NVR の各機能を使用します。

【全画面イメージ】

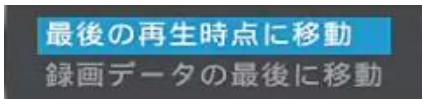


【メニューイメージ】



6.1. 検索

HDD の録画データのどの位置に移動するかを選択できます。



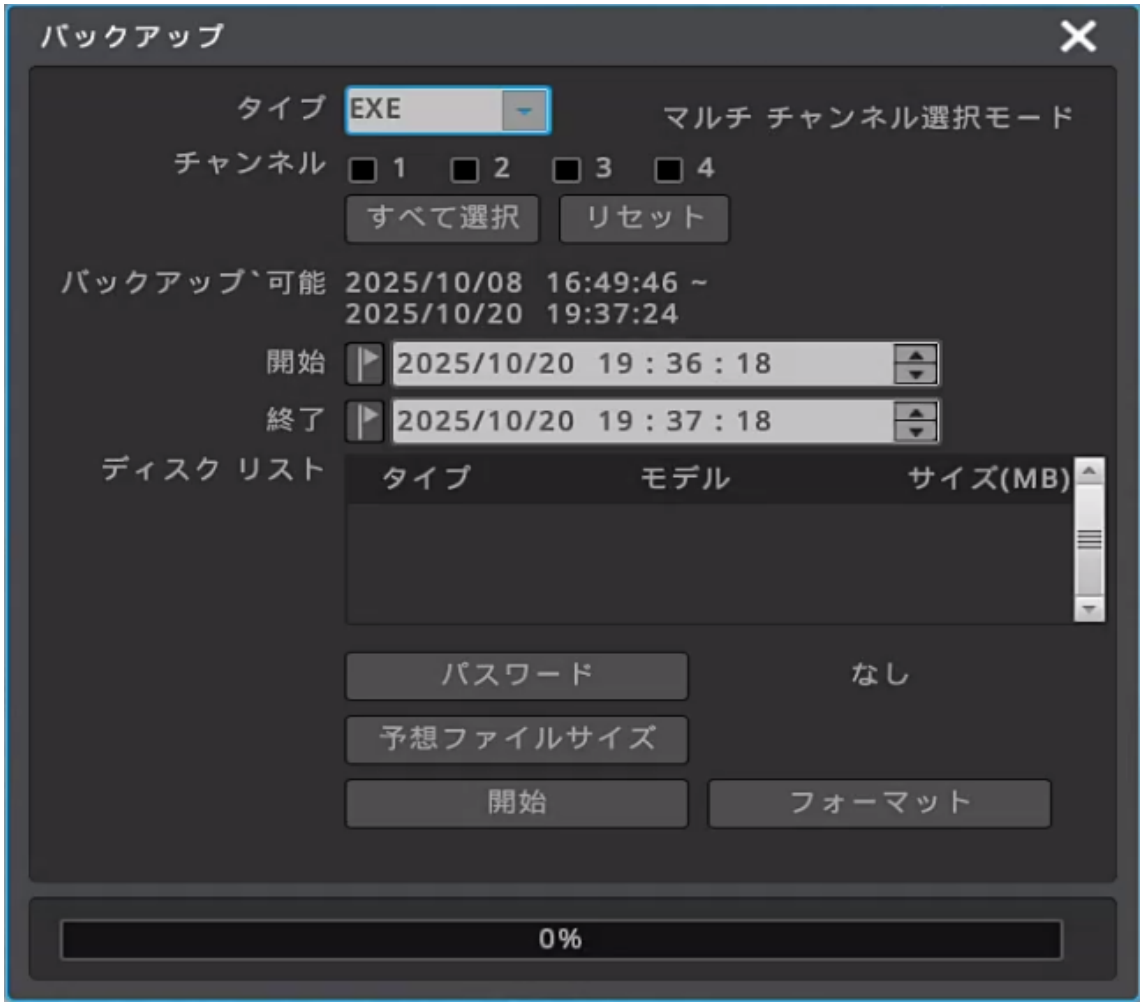
名称	説明
最後の再生時点に移動	最後に録画を視聴した日時に移動します。 遷移後の操作は 5 章をご確認ください。
録画データの最後に移動	HDD の最後の録画時点に移動します。 遷移後の操作は 5 章をご確認ください。

6.2. バックアップ

USB メモリに録画データをバックアップします。

※FAT32 形式となります。必要なデータを退避してフォーマット後にご使用ください。

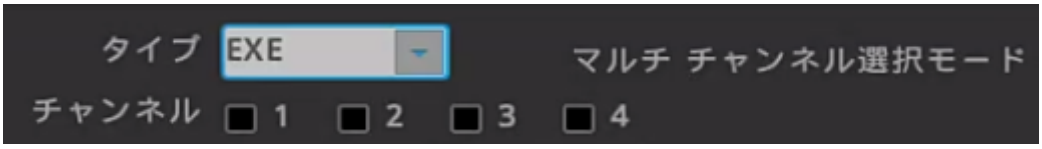
【メニューイメージ】



【手順】

① USB メモリを NVR 本体の USB ポート(フロント・リアどちらでも可)に差し、[フォーマット]ボタンを押下します。

② [タイプ]から動画保存形式を選択し、保存対象チャンネルを選択します。

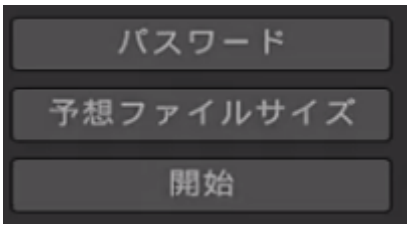


EXE：複数チャンネルをまとめて保存できます。

AVI：単一チャンネルの保存形式です。

③ 保存開始時刻と終了時刻を選択します。

④ 必要があればパスワード、ファイルサイズ計算をおこない、[開始]ボタンを押下します。



⑤ バックアップ終了後、ポップアップが表示されるので[OK]ボタンを押下し、USB メモリを抜きます。

⑥ バックアップ後、以下のファイルをご確認ください。

B20250818.104549-20250818.104617.exe ← [1]

B20250818.104549-20250818.104617.html ← [2]

B20250818.104549-20250818.104617_eventlog.html ← [3]

B20250818.104549-20250818.104617_systemlog.html ← [4]

[1]動画本体：録画映像を確認できます。　※イメージは EXE で保存した場合

[2]バックアップデータ情報：録画チャンネルや日時、動画ファイルのサイズなどをまとめたファイルです。Microsoft Edge でご確認ください。

[3]イベントログ：録画日時に起こったイベントを表示します。

[4]システムログ：録画日時に起こったシステムログを表示します。

※[1]、[3]、[4]のファイルは[2]からダウンロードや閲覧可能です。

※AVI 形式でバックアップした場合、[1]～[4]のほかに字幕対応の SMI 形式のファイルが付属します。AVI ファイルを再生後、字幕対応のプレイヤーをお使いの方は表示・非表示を切り替えて視聴が可能です。字幕をご使用の場合は AVI ファイルと同階層でご使用ください。

【AVI 形式で保存した場合のファイルリスト】

C20250818.130257-20250818.130357.avi

C20250818.130257-20250818.130357.html

C20250818.130257-20250818.130357.smi

C20250818.130257-20250818.130357_eventlog.html

C20250818.130257-20250818.130357_systemlog.html

6.3. ツール

各ツールを使用できます。

【メニューイメージ】

6.3.1. PTZ

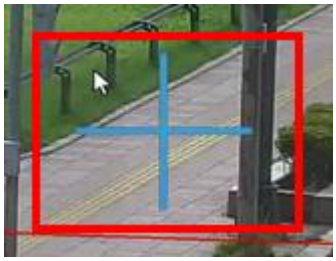
PTZ カメラの操作に使用可能な機能です。

本メニュー起動後に PTZ カメラのチャンネルを選択します。

名称	説明
パン/チルト	カメラのパン/チルト操作をおこないます。
ズーム	カメラのズームインとズームアウトをおこないます。
フォーカス	フォーカスを合わせる操作をおこないます。
Aux	本機能は未サポートのためご使用になれません。
プリセット	カメラに登録されているプリセットに移動・登録をおこないます。
ツアー	NVR でプリセット位置の巡回を設定できます。 設定手順は 9.3.2 章をご確認ください。

6.3.2. インスタント PTZ

有効にすると PTZ カメラを単一画面にした際に自動で PTZ 操作が可能となります。
PTZ 操作可能な場合は View エリア中央に青色の十字が表示されます。



ドラッグドロップで PT 方向への移動、マウスホイールで PTZ のズームイン/アウト操作が可能です。

6.3.3. カメラ設定

本機能は未サポートのためご利用になれません。

6.3.4. マルチ

7 章と同じ操作となります。

6.3.5. シーケンス

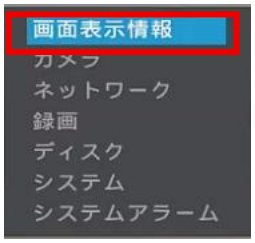
View エリアの画面を切り替えて表示します。
切り替える順序、止まる秒数は 9.3.3 章でご確認ください。

6.3.6. カスタム設定

マルチ機能で表示位置をカスタマイズする設定をおこないます。

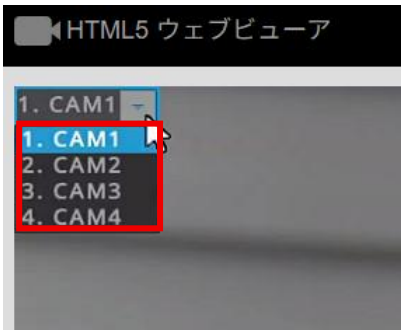
【手順】

① [FUNC] > [情報] > [画面表示情報]を選択します。

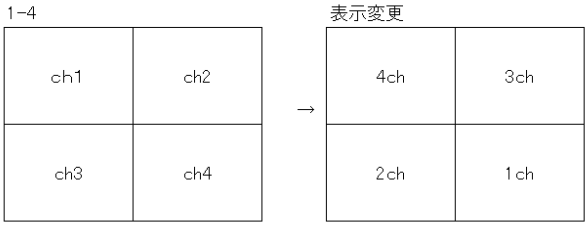


② [チャンネル名]項目の表示をプルダウン形式にします。

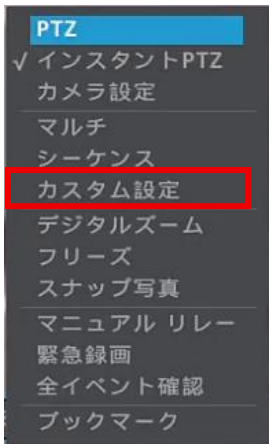
③ View エリアで表示したいカメラの位置を変更します。



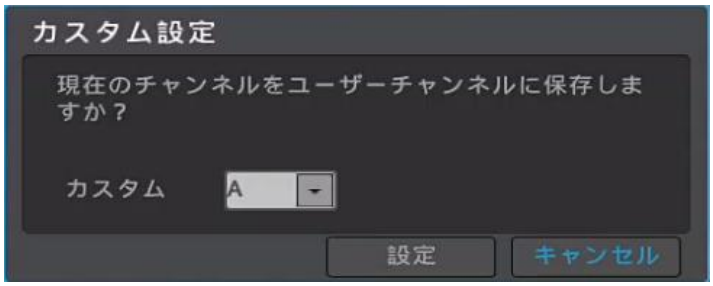
※表示位置例



④ 本機能(カスタム設定)を選択します。

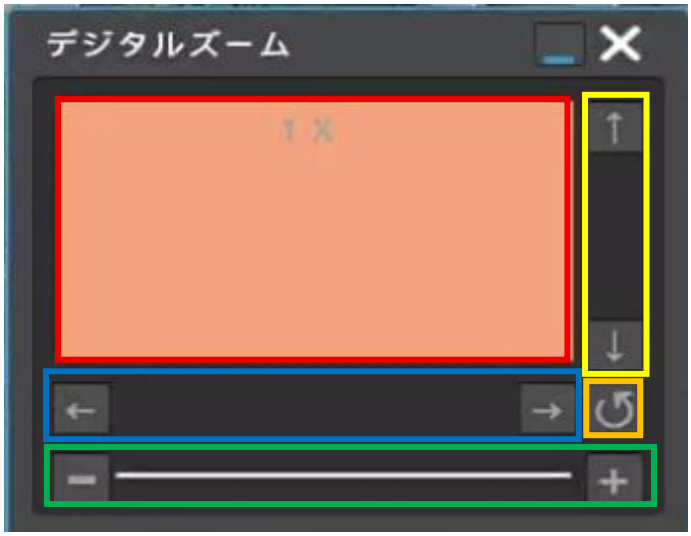


⑤ [設定]を押下すると現在のチャンネル表示がカスタムに保存されます。



6.3.7. デジタルズーム

単一画面表示のときにデジタルズーム操作をおこないます。



赤枠：ズーム時の表示エリア

黄枠、青枠：ズーム時の表示エリア移動

緑枠：倍率変更(1x ～ 7x)

橙枠：1x リセット

6.3.8. フリーズ

8 章の説明をご確認ください。

6.3.9. スナップ写真

単一画面表示のときの機能となります。

表示中の映像を静止画として USB メモリに保存します。

※あらかじめ FAT32 形式にフォーマットしてご使用ください。

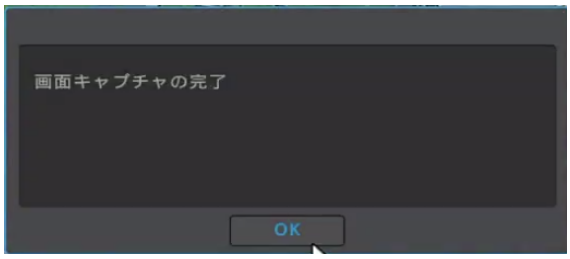
【手順】

① NVR 本体に USB メモリを差し込みます。(フロント・リアどちらでも可)

② スナップ写真をとりたい画面を単一画面表示にします。

③ 本機能をクリックします。

④ 完了のポップアップが出たら[OK]をクリックして USB メモリを抜いてください。



6.3.10.マニュアルリレー

手動でリレー接続の ON/OFF をおこないます。

6.3.11.緊急録画

常時録画の設定に関係なく高画質・高フレームレートで録画をおこないます。

※使用するには 9.5.1 章の緊急録画を有効にしてください。

6.3.12.全イベント確認

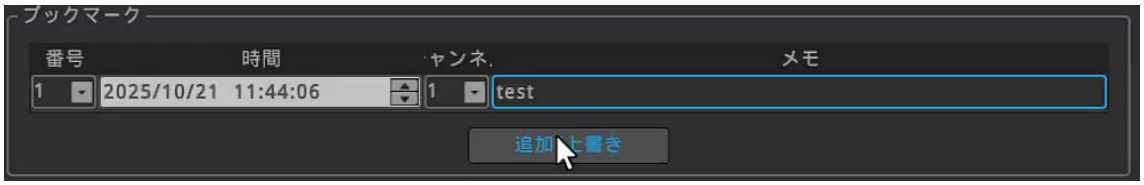
NVR のブザー音やポップアップなどのイベントによる通知をまとめて止める機能です。

6.3.13.ブックマーク

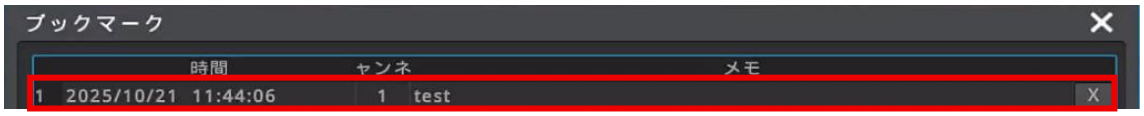
録画映像を確認する日時をブックマークすることができます。

最大：20 件

ブックマーク欄に登録番号、日時、チャンネルとメモ(任意)を入力して[追加/上書き]をクリックして保存します。



↓



6.4. 情報

各設定情報を確認することができます。

【メニューイメージ】

6.4.1. 画面表示情報

ライブエリアの表示を変えます。

・チャンネル名：チャンネル名表記方法を設定できます。

・ビデオ上のテキスト：キャプションの色、サイズ、枠の有無を設定できます。

・チャンネル枠：チャンネルの枠の表示・非表示、表示の際の色を設定できます。

・表示/非表示/自動非表示

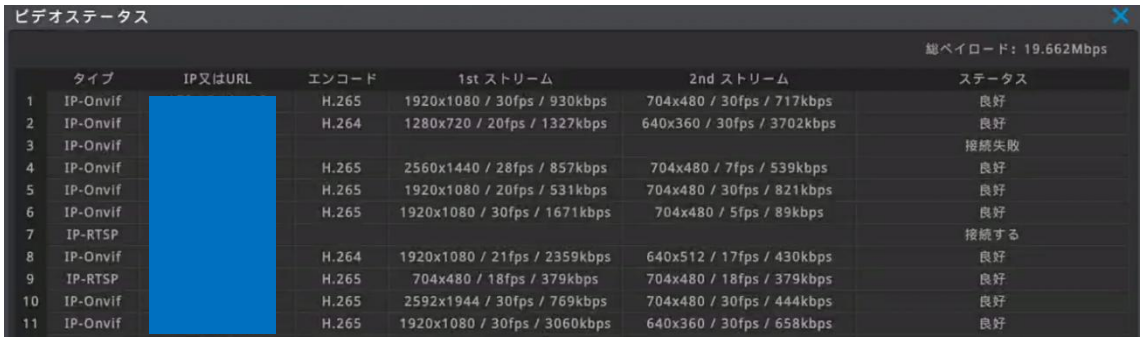
各項目の表示/非表示/自動非表示を設定できます。

※自動非表示：一定時間操作しない場合に非表示にします。

・ステータスバーの位置：下部かやや上部に設定できます。

6.4.2. カメラ

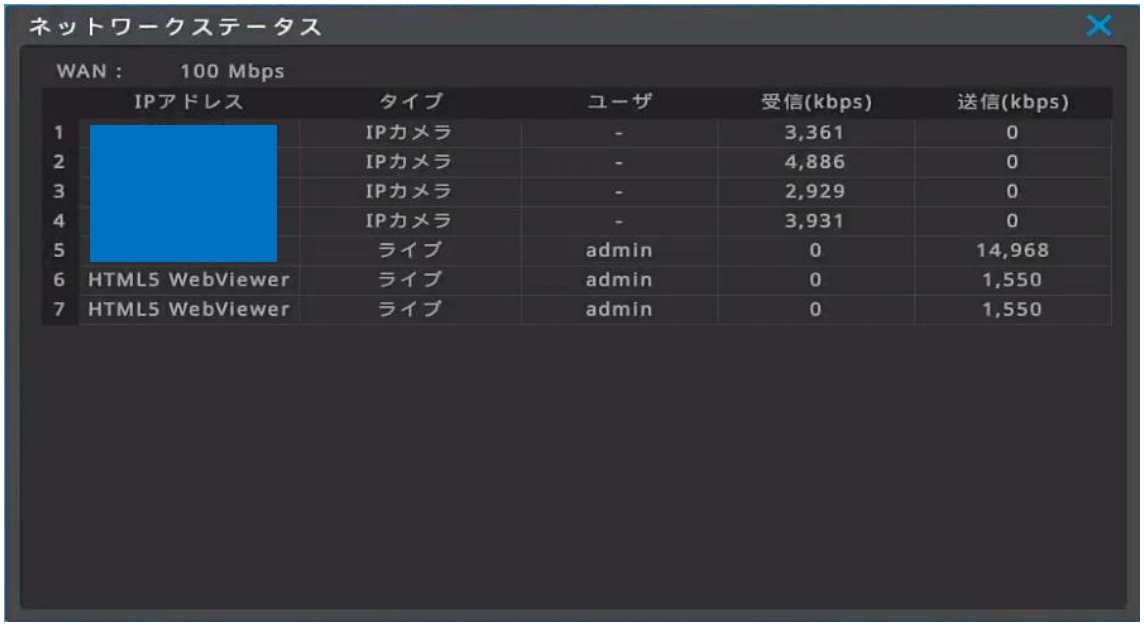
接続中のカメラの情報が確認できます。



	タイプ	IP又はURL	エンコード	1st ストリーム	2nd ストリーム	ステータス
1	IP-Onvif	[redacted]	H.265	1920x1080 / 30fps / 930kbps	704x480 / 30fps / 717kbps	良好
2	IP-Onvif	[redacted]	H.264	1280x720 / 20fps / 1327kbps	640x360 / 30fps / 3702kbps	良好
3	IP-Onvif	[redacted]				接続失敗
4	IP-Onvif	[redacted]	H.265	2560x1440 / 28fps / 857kbps	704x480 / 7fps / 539kbps	良好
5	IP-Onvif	[redacted]	H.265	1920x1080 / 20fps / 531kbps	704x480 / 30fps / 821kbps	良好
6	IP-Onvif	[redacted]	H.265	1920x1080 / 30fps / 1671kbps	704x480 / 5fps / 89kbps	良好
7	IP-RTSP	[redacted]				接続する
8	IP-Onvif	[redacted]	H.264	1920x1080 / 21fps / 2359kbps	640x512 / 17fps / 430kbps	良好
9	IP-RTSP	[redacted]	H.265	704x480 / 18fps / 379kbps	704x480 / 18fps / 379kbps	良好
10	IP-Onvif	[redacted]	H.265	2592x1944 / 30fps / 769kbps	704x480 / 30fps / 444kbps	良好
11	IP-Onvif	[redacted]	H.265	1920x1080 / 30fps / 3060kbps	640x360 / 30fps / 658kbps	良好

6.4.3. ネットワーク

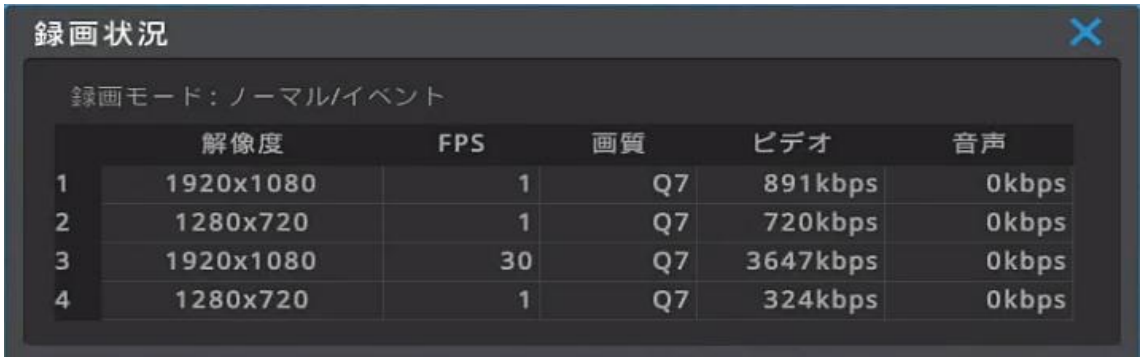
ネットワークの接続状況が確認できます。



	IPアドレス	タイプ	ユーザ	受信(kbps)	送信(kbps)
1	[redacted]	IPカメラ	-	3,361	0
2	[redacted]	IPカメラ	-	4,886	0
3	[redacted]	IPカメラ	-	2,929	0
4	[redacted]	IPカメラ	-	3,931	0
5	[redacted]	ライブ	admin	0	14,968
6	HTML5 WebViewer	ライブ	admin	0	1,550
7	HTML5 WebViewer	ライブ	admin	0	1,550

6.4.4. 録画

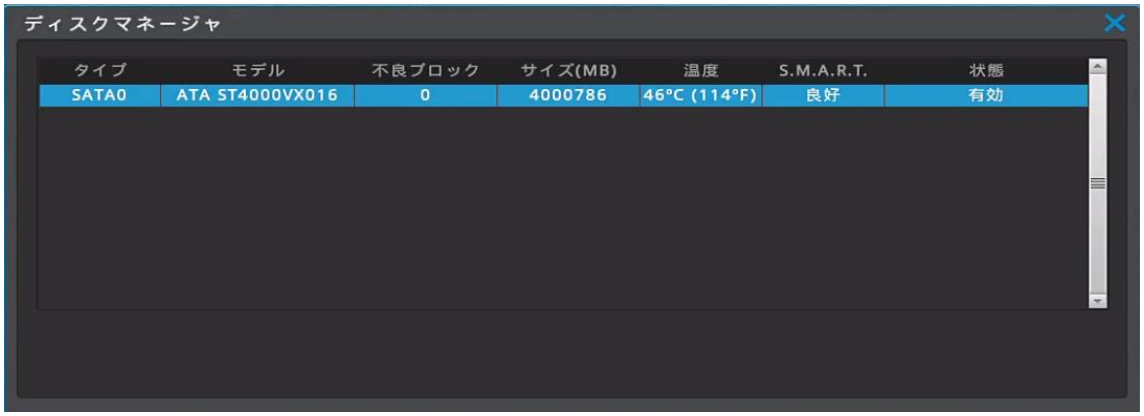
各チャンネルの録画情報が確認できます。



	解像度	FPS	画質	ビデオ	音声
1	1920x1080	1	Q7	891kbps	0kbps
2	1280x720	1	Q7	720kbps	0kbps
3	1920x1080	30	Q7	3647kbps	0kbps
4	1280x720	1	Q7	324kbps	0kbps

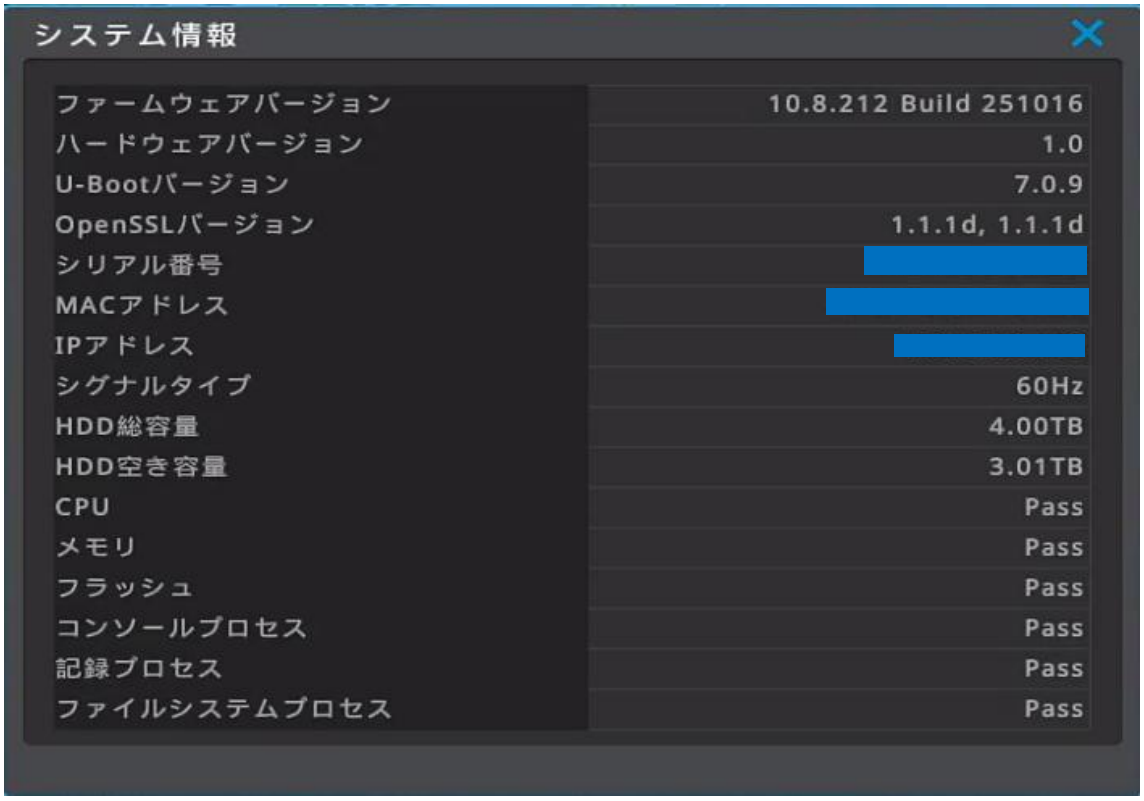
6.4.5. ディスク

付属の HDD の状態を確認することができます。



6.4.6. システム

システム情報を確認することができます。



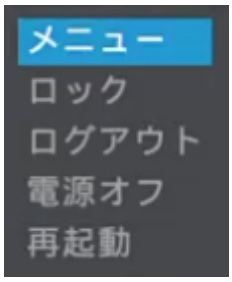
6.4.7. システムアラーム

システムアラームを確認することができます。

6.5. システム

システム設定やログアウト、再起動等をおこないます。

【メニューイメージ】



6.5.1. メニュー

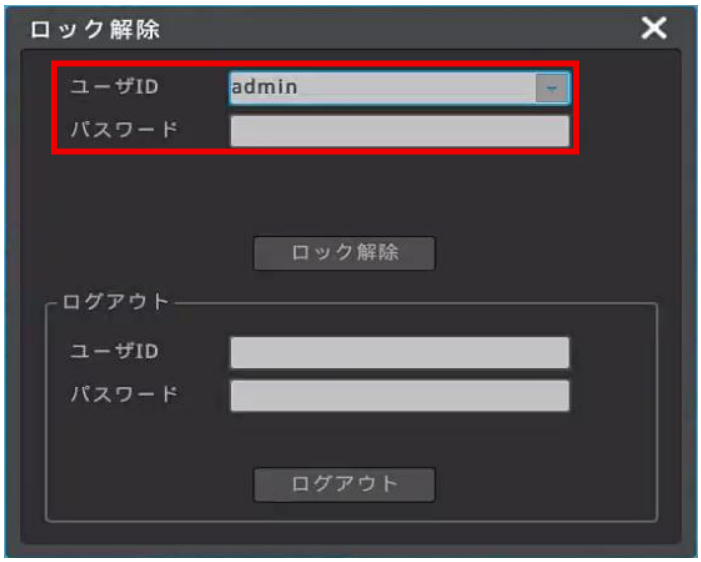
ステータスバーのメニュー画面をこちらからも利用できます。

6.5.2. ロック

画面のロックをおこないます。

ロック時はステータスバーの日時表示の左横に鍵マークが表示されます。

ロック解除は任意のエリアをクリックし、ID とパスワードを入力してください。



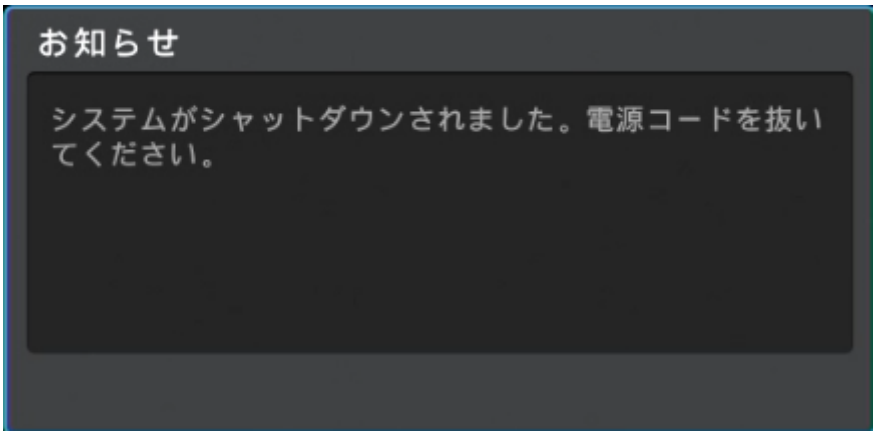
※ロック解除画面からログアウトも可能ですので、必要な方を選択して操作してください。

6.5.3. ログアウト

ログイン中のユーザからログアウトできます。

6.5.4. 電源オフ

電源を安全に切る機能です。



こちらのメッセージがモニタに表示されてから背面の電源スイッチを OFF にしてください。

6.5.5. 再起動

NVR を再起動することができます。

7.　マルチ

ライブエリアの表示画面数を切り替えます。

【4ch モデル：HNR-WG004】

【8ch モデル：HNR-WG008】

【16ch モデル：HNR-WG016】

表示したいチャンネルの組み合わせを選択してご使用ください。

[カスタム]は表示チャンネルの配置を変更できる機能になります。

設定は 6.3.6 章の[カスタム設定]の手順をご確認ください。

8. フリーズ

現在のモニタの画面で静止させます。

ステータスバーの[フリーズ]ボタンをクリックすることで本機能が使用できます。

[フリーズ]機能動作中は画面右上に[FREEZE]の青いアイコンが表示されます。

ライブ画面のカメラ映像とステータスバーに表示される NVR 本体の日時が静止し、他の機能設定をおこなうことができなくなります。

解除するには以下の 3 つの手順のどれかをおこなってください。

① マウスを右クリックする。
② 画面右上の[FREEZE]アイコンをクリックする。
③ ステータスバーの「フリーズ」ボタンをもう一度クリックする。

9. メニュー

本章では NVR の各設定ができます。

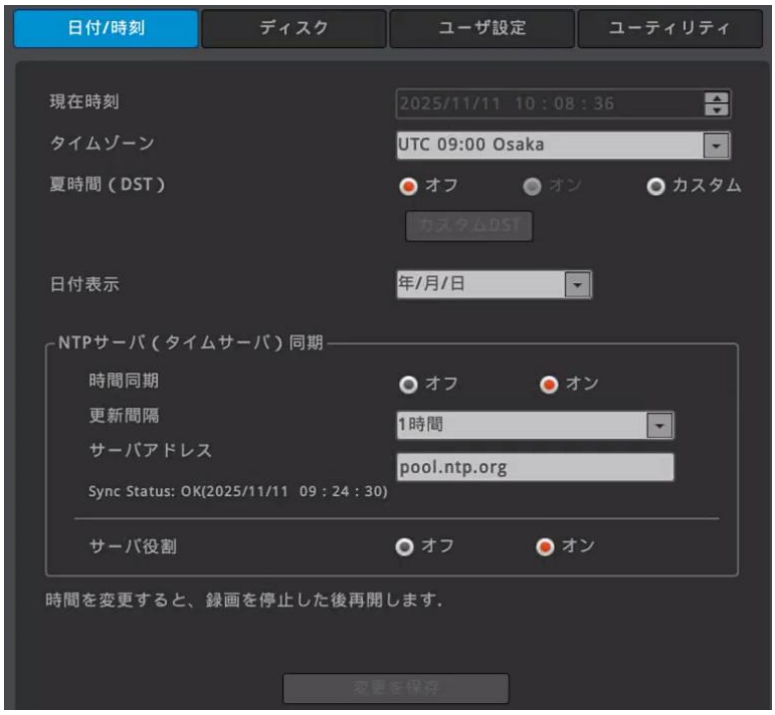
9.1. システム

システム設定をおこないます。

9.1.1. 日付/時刻

NVR 本体の時刻の設定をおこないます。

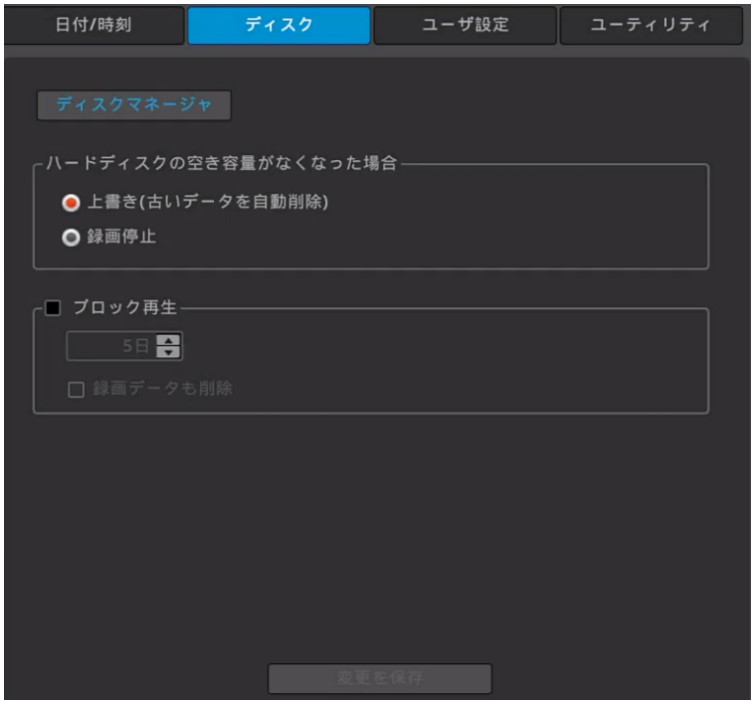
時刻の変更は録画を停止してからおこなってください。



名称	説明
現在時刻	手動で時刻を設定できます。 ※本メニュー下部の NTP サーバの時間同期をオフにしてご使用ください。
タイムゾーン	NTP 使用時のメニューです。 [UTC 09:00 Osaka]を選択してご使用ください。
夏時間(DST)	本機能は未サポートのためご利用になれません。
日付表示	日付の表示を変更することができます。
NTP サーバ （タイムサーバ） 同期	・時間同期：NTP で時間を同期します。 ・更新間隔：NTP サーバと同期をとる時間間隔を設定できます。 ・サーバアドレス：NTP サーバのアドレスを入力します。 ・サーバ役割：NVR 本体が NTP サーバとなります。 ※本 NVR からの PoE 給電カメラの NTP サーバとしてご利用いただけます。

9.1.2. ディスク

HDD の設定をおこないます。



名称	説明
ディスクマネージャ	HDD の状態と、録画の有効、無効、フォーマットをおこないます。
ハードディスクの空容量がなくなった場合	上書きか録画停止の設定をおこないます。
ブロック再生	録画データの NVR からのさかのぼり再生日数を設定します。 例：15 日分の録画データがあってもブロック再生の日数を 10 日にした場合、10 日分のデータしか確認できません。 本機能を解除すればすべての録画データを確認できます。 ※[録画データも削除]は未サポートのためご利用になれません。

9.1.3. ユーザ設定

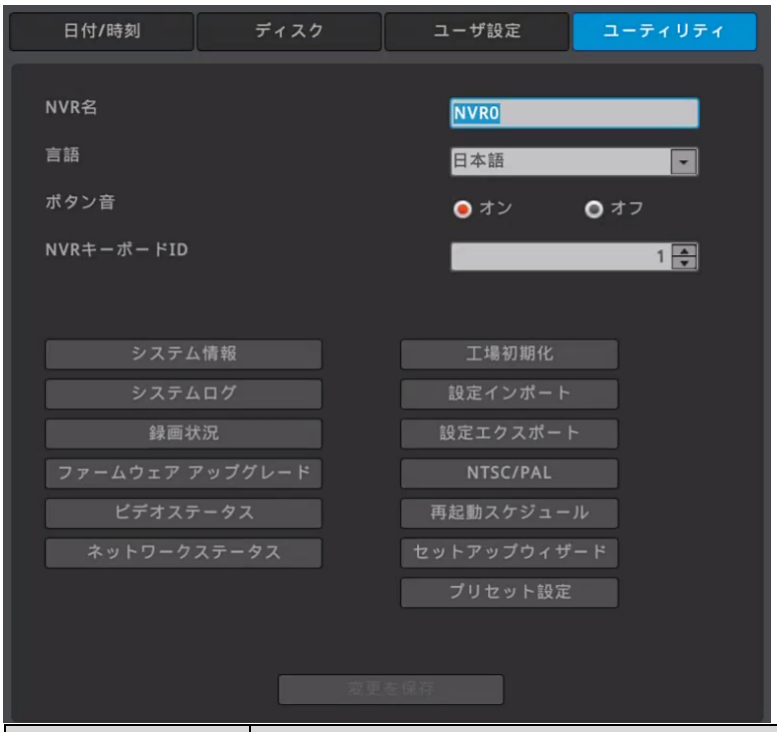
ユーザに関する設定をおこないます。

名称	説明
ユーザアクティブ	本機能は管理者(admin)と一般ユーザを 10 まで登録可能です。 一般ユーザはデフォルト名が user1～user10 となっていますので、 必要に応じてユーザ選択項でユーザ名を変更してご使用ください。
ユーザ選択	ID/パスワードを設定および変更する場合にご使用ください。
閲覧チャンネル	ユーザ選択で選択中のユーザ(管理者以外)の閲覧許可チャンネルを設定できます。
操作権限	ユーザ選択で選択中のユーザ(管理者以外)の操作権限を設定できます。
追加ユーザ管理	より詳細にユーザの設定が可能です。 ・リモート管理 チェックを入れ、[すべての IP アドレスを許可]にしてご使用ください。 ・自動ロック ログイン後操作がないとロックがかかる時間が設定可能です。 解除方法は 6.5.2 章のロック解除手順を参照してください。 ・自動ログアウト ログイン後操作がないとログアウトとなるまでの時間が設定可能です。

	・自動ログイン 電源 ON および再起動後にログインとなるユーザが設定可能です。 ・Spot ログイン 本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.1.4. ユーティリティ

各設定とその確認がおこなえます。



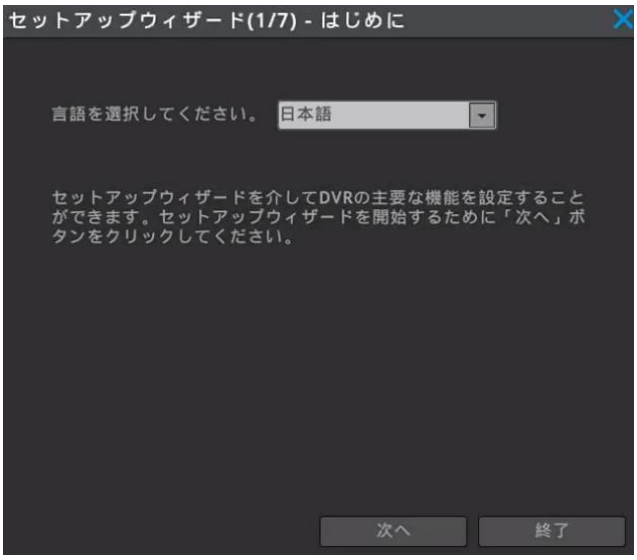
名称	説明
NVR 名	本 NVR の名称を設定できます。
言語	[日本語]でご使用ください。
ボタン音	本機能は未サポートのためご利用になれません。
NVR キーボード ID	本機能は未サポートのためご利用になれません。
システム情報	本 NVR のシステム情報が確認できます。
システムログ	システムログが確認できます。
録画状況	録画状況が確認できます。
ファームウェア アップグレード	アップグレード用のファームウェアが発行された場合、こちらよりアップグレード可能です。
ビデオステータス	ビデオステータスが確認可能です。
ネットワークステータス	ネットワークステータスが確認可能です。
工場初期化	工場出荷状態に初期化します。 ※ 初期化を実行すると、初期化対象の各種設定（ネットワーク設定、ユーザー設定など）及びログが消去され、工場出荷時の状態に戻ります。録画データは消去されません。また、適用済みのファームウェアバージョンは変更されません。
設定インポート	エクスポートした設定をインポートします。 ※IP アドレス等のネットワーク情報は現状を引き継ぎます。

設定エクスポート	現在の設定をエクスポートします。
NTSC/PAL	画面がちらつく場合はこちらを切り替えてご確認ください。
再起動 スケジュール	再起動のスケジュールを設定できます。
セットアップウィザード	セットアップウィザードを起動します。
プリセット設定	本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.1.5. セットアップウィザードの使用方法

① はじめに(1/7)

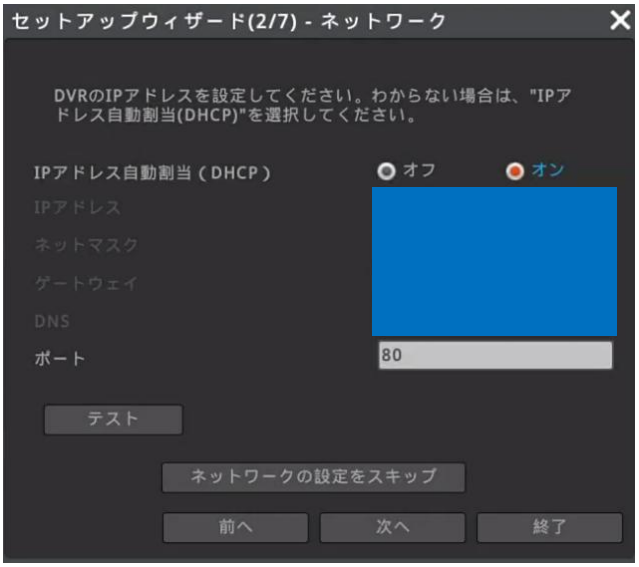
言語は[日本語]をご使用ください。



② ネットワーク(2/7)

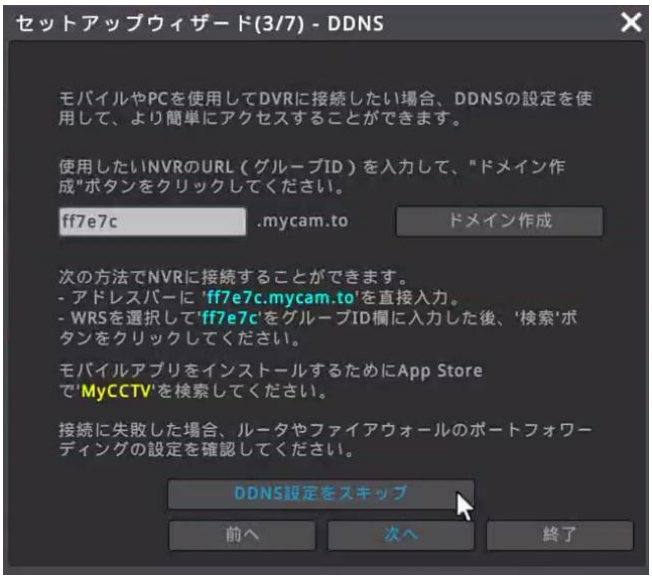
本 NVR のネットワーク情報を設定します。

DHCP が有効なネットワーク機器に接続している場合は DHCP をオンにしてご利用いただけます。



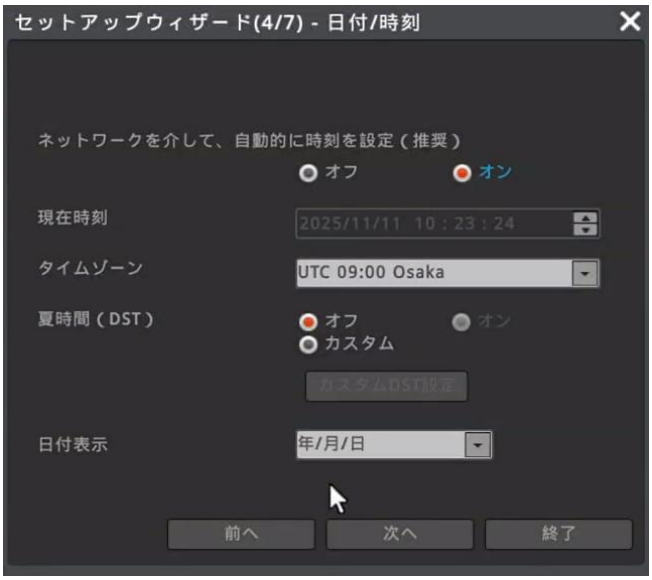
③ DDNS(3/7)

本機能は未サポートのため、”DDNS 設定をスキップ”をクリックしてください。



④ 日付/時刻(4/7)

NTP サーバの有効・無効や日付の表記を設定できます。

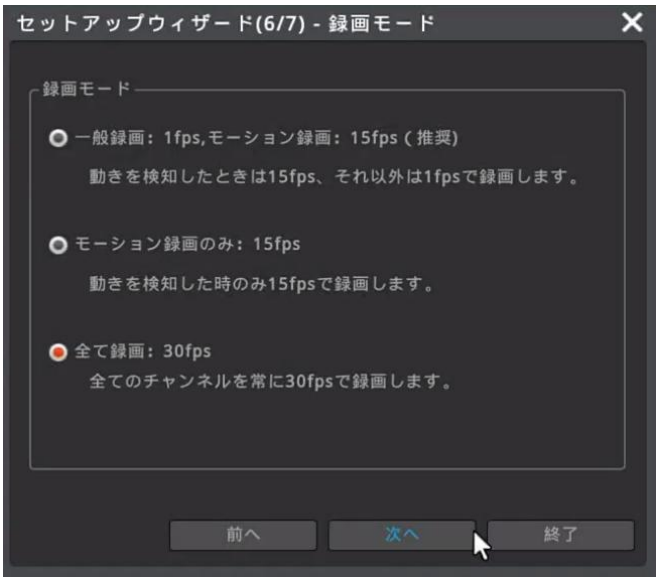


⑤　ハードディスク(5/7)

ハードディスクの状況が確認できます。

⑥　録画モード（6/7）

録画モードの設定が可能です。



⑦　終了(7/7)

起動時にセットアップウィザード起動を有効・無効の設定が可能です。

9.2. ネットワーク

ネットワーク設定をおこないます。

9.2.1. ネットワーク

本 NVR のネットワーク設定をおこないます。

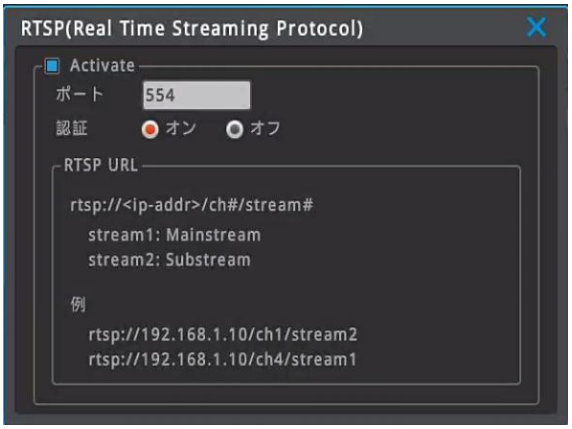
名称	説明
IP アドレス自動割り当て（DHCP）	オン：DHCP を有効にします。DHCP サーバが有効なネットワーク機器に接続してご利用ください。 オフ：IP アドレスを手動で割り当てます。
IP アドレス	本 NVR の IP アドレスを割り当てます。
ネットマスク	本 NVR のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	本 NVR のネットワークのゲートウェイを設定します。

ビデオ入力 (PoE)IP アドレス	PoE ポートの IP アドレスを設定します。設定した IP アドレスと同じサブネットの範囲で PoE ポートに接続したカメラへの IP アドレス割り当てを行います。 ※カメラの IP が固定の場合、本機能は無効です。ご使用の際はカメラの IP 設定を DHCP にし、9.3.1 章の PoE ポートの自動 IP 設定をオンにしてご使用ください。 ※第 4 オクテットについて、11～26 はカメラに割り当てるため使用しないでください。
UPnP ポートフォーワーディング	本機能は未サポートのためご利用になれません。
DNS、追加の DNS	DNS を最大 3 つまで設定できます。
ポート	Web 設定画面にアクセスするためのポート番号を設定します。 初期値：443
伝送帯域幅制限	本 NVR からの伝送帯域に制限を設定できます。
P2P クラウド ※	本機能は未サポートのためご利用になれません。
IP フィルタリング	本機能は未サポートのためご利用になれません。
TLS	Web 管理画面にアクセスする際のプロトコルを設定します。 オフ：HTTP でアクセスします。 オン：HTTPS でアクセスします。 初期値：オン
証明書	本機能は未サポートのためご利用になれません。

※P2P クラウド機能について
ネットワーク設定をおこなわなくても外部クラウド経由で接続をおこなう仕組みとなりますが、
本機能はサポート対象外です。

9.2.2. サービス

本 NVR からのストリーム配信や接続カメラへのアクセスについての設定が可能です。

名称	説明
ビデオストリーミング	RTSP 接続の設定をおこないます。  ポート：RTSP 接続のポートを設定できます。 認証：RTSP 接続時に認証有効・無効を設定できます。 【RTSP の URL】 rtsp://[NVR の IP アドレス]/ch#/stream#
サービスストリーミング	本機能は未サポートのためご利用になれません。
中継カメラ Web ページ	接続しているカメラの Web 管理画面にアクセスできます。 【中継カメラ Web ページ】

	オフ：接続しているカメラの Web 管理画面にアクセスできません。 オン：接続しているカメラの Web 管理画面にアクセスできます。 有効後の手順は 10.5 章をご確認ください。 【Additional Relay Port】 本機能は未サポートのためご利用になれません。
遠隔アップグレード	Network Upgrader によるアップグレードを許可するかどうか設定します。この設定はセキュリティのため、再起動のたびに自動でオフになります。 アップグレードを行う時のみオンに設定します。
UDP Discover	オンにすると、Network Upgrader によるアップグレードの際にツール上に NVR が自動認識されます。

9.2.3. DDNS

本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.2.4. WRS

本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.3. デバイス

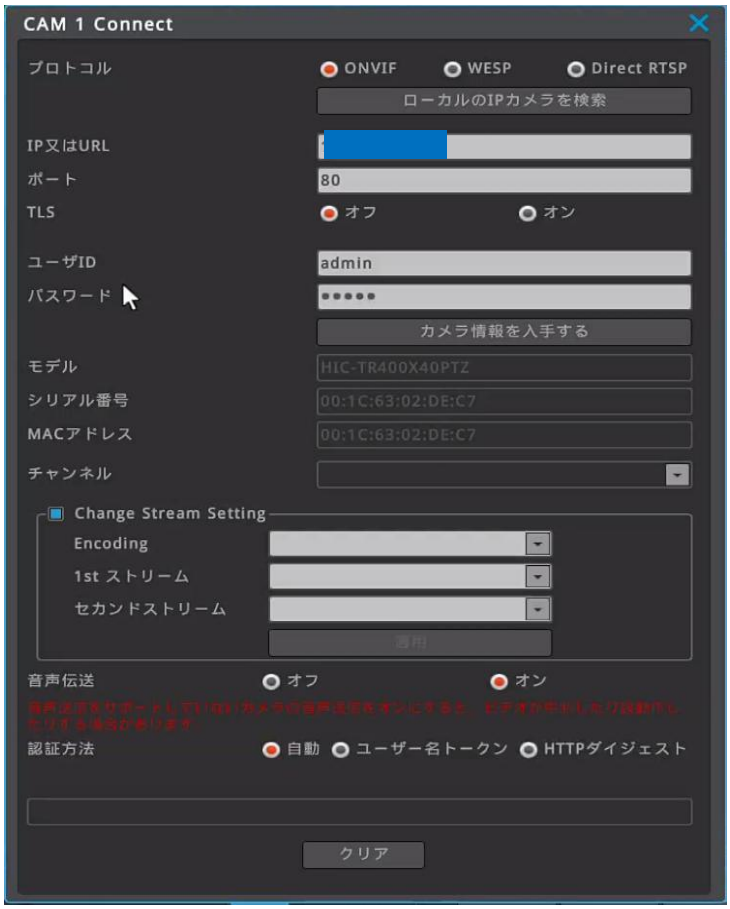
接続デバイスの設定をおこないます。

9.3.1. カメラ

IP カメラの設定をおこないます。

名称	説明
チェックボックス	設定したカメラの接続を有効・無効にするかを設定します。
登録	カメラ情報の登録をおこないます。詳細は後述します。
設定	カメラのイメージ設定をおこないます。 イメージ：機能の有効無効はカメラのイメージに準拠します。 プライバシー：本機能は未サポートのためご利用になれません。 炎：本機能は未サポートのためご利用になれません。 人工知能：本機能は未サポートのためご利用になれません。
名称	カメラのキャプション表示名の設定をおこないます。 ※名称を複数チャンネルまとめて変更する手順は 4.5 章の「一括設定」をご確認ください。スクリーンキーボードでは日本語が適用できないため、日本語を使用したい場合も 4.5 章手順をご利用ください。
状況	通信状況を表示します。

■登録



名称	説明
プロトコル	ONVIF：IP カメラを ONVIF で接続します。 WESP：本機能は未サポートのためご利用になれません。 Direct RTSP：RTSP の URL から直接参照接続します。
ローカル IP カメラを検索	本 NVR と同じネットワークの ONVIF 対応 IP カメラを検索します。
IP 又は URL	カメラの IP アドレスを入力します。
ポート	[80]でご使用ください。
TLS	本機能は未サポートのためご利用になれません。
ユーザ ID	カメラのユーザ ID を入力してください。
パスワード	カメラのパスワードを入力してください。
カメラ情報を入手する	接続先のカメラの情報を入手します。 モデル、シリアル番号、MAC アドレスをご確認ください。
Change Stream Setting	カメラのエンコード、1st ストリーム、セカンドストリームの設定を変更できます。 変更する際は[適用]をクリックしてください。
音声伝送	音声伝送を有効にします。 ※音声非対応の IP カメラの場合は設定をオフにしてご使用ください。

認証方法	本機能は未サポートのためご利用になれません。
クリア	設定を消去する場合にクリックしてください。

※NVR 設定後にカメラ側の Onvif 機能を ON/OFF すると NVR が再起動する場合があります。
カメラの設定を終えてから NVR に接続してご使用ください。
※カメラの情報を一括設定する手順は 4.6 章の「一括設定」をご確認ください。

■PoE ポートの自動 IP 設定

PoE ポートに接続したカメラに自動で IP を付与する機能の有効・無効を設定します。

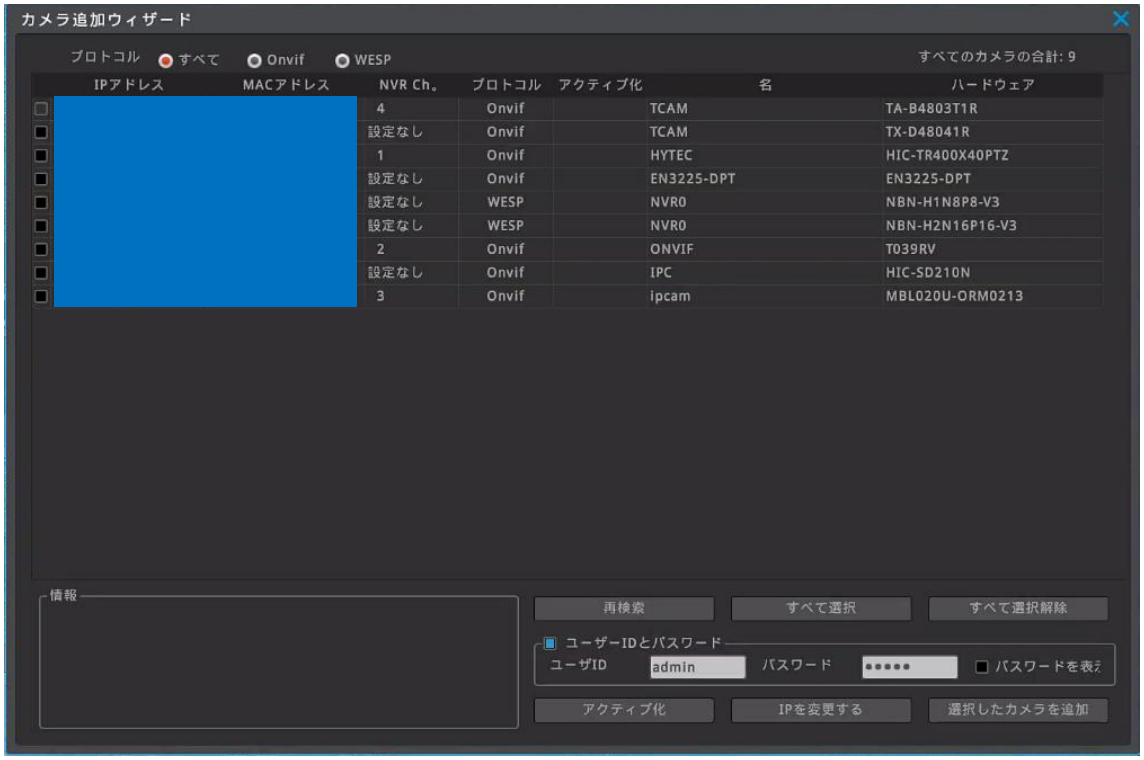
【設定手順】

① 本機能は IP カメラが DHCP 機能搭載の場合のみ使用可能です。
カメラの IP アドレスを DHCP に設定してから PoE ポートに接続してください。

② 本機能を有効にします。

■カメラ追加ウィザード

本 NVR と同ネットワークのカメラを取得し、自動で設定をおこなえます。
[カメラ追加ウィザード]をクリック後、クリック時点の IP カメラを取得してリストを作成します。



再検索：リストを再作成します。
すべて選択：リストの上位からチャンネル数分の選択をおこないます。
すべて選択解除：選択されているリストを選択解除します。
ユーザ ID とパスワード：選択したカメラの設定に固定の ID とパスワードを設定します。

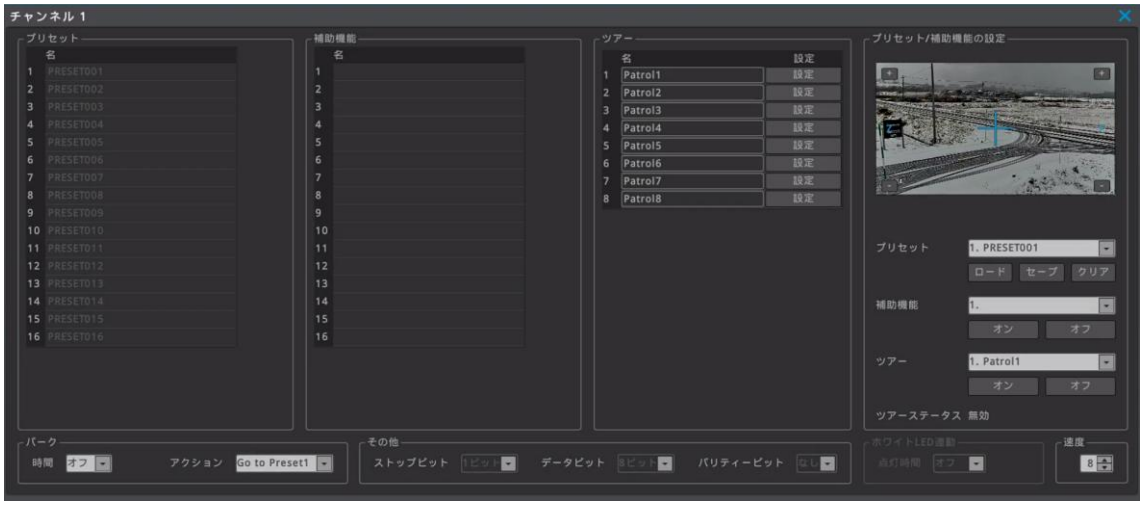
アクティブ化：選択をアクティブにします。
IP を変更する：IP を変更します。
選択したカメラを追加：選択したカメラを追加します。

9.3.2. PTZ

PTZ 対応カメラの設定をおこないます。

※　ポート、デバイス、アドレス、ボーレートおよびキーボードは未サポートのためご利用になれません。

[etc]からプリセット登録が設定できます。



名称	説明
プリセット	PTZ カメラのプリセットを表示します。 カメラのプリセット登録数にかかわらず上位 16 までの表示となります。
補助機能	本機能は未サポートのためご利用になれません。
ツアー	カメラに登録してあるプリセットを順番に表示します。

	カメラの設定とは別に独自で設定可能です。
パーク	一定時間後に指定のプリセット位置に移動します。
その他	本機能は未サポートのためご利用になれません。
プリセット/補助機能の設定	6.3.1 章の PTZ を参照してください。
速度	PTZ 操作の画角移動速度を設定します。

9.3.3. モニタ

〇自動シーケンス(SEQ)

シーケンス機能を使用する際の巡回順や停止秒数を設定します。

〇「MULTI」ボタン動作順序

本機能は未サポートのためご利用になれません。

〇解像度

HDMI と VGA のモニタ出力解像度が変更できます。

設定変更後、本体の再起動となります。

〇メインモニターの色調整

モニタの色味を調整します。

9.3.4. 音声

音声の設定をおこないます。

名称	説明
タイプ	入力を設定なし、接続カメラ、NVR から選択できます。
音声録音	録画データに音声データを含めるか含めないかを選択できます。
音声ゲイン	入力音声のゲインを調整できます。
音声出力チャンネル	音声出力チャンネルを選択します。
イベントポップアップでマイクを有効にする	イベントポップアップ時にマイクの有効・無効を設定できます。

9.3.5. テキスト

本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.4. イベント

イベントによるアクションを設定します。

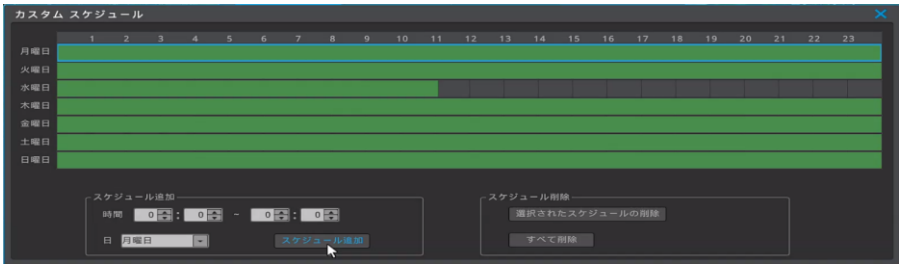
9.4.1. イベント

イベント契機によるアクションを設定します。

【スケジュール】

イベント発生時のアクションをおこなう時間帯を設定できます。

名称	説明
常にイベントを監視	イベントが発生したら時間帯を問わず設定したアクションをおこないます。
カスタム	設定したアクションをおこなう時間帯を設定します。

<table>
<tr><td></td><td>


緑色：有効、グレー：無効

〇設定方法
[スケジュール追加]より、曜日、時間帯を選択して、
[スケジュール追加]ボタンをクリックします。

有効に登録済みの録画時間帯を無効にしたい場合は、一日分のスケジュールを一度削除してから録画必要な時刻を追加しなおしてください。
</td></tr>
</table>

【イベント連動】

イベント発生時のアクションの種類を選択します。

名称	説明
リレー1	背面のアラーム端子を作動させます。
ブザー	NVR 本体から電子音が鳴ります。
電子メール	指定のメールアドレスにメール通知をおこないます。 設定は以下の[追加設定]に記載します。
FTP	本機能は未サポートのためご利用になれません。
ビデオポップアップ	ライブエリアにポップアップ表示をおこないます。
システムアラーム	システムアラームを発信します。
カメラプリセット	PTZ カメラを接続している場合の機能です。 プリセット位置に画角を移動します。
アラームプッシュ	本機能は未サポートのためご利用になれません。
イベントハイライト	本機能は未サポートのためご利用になれません。

【イベントソース】

どのイベントを元にするかを設定できます。

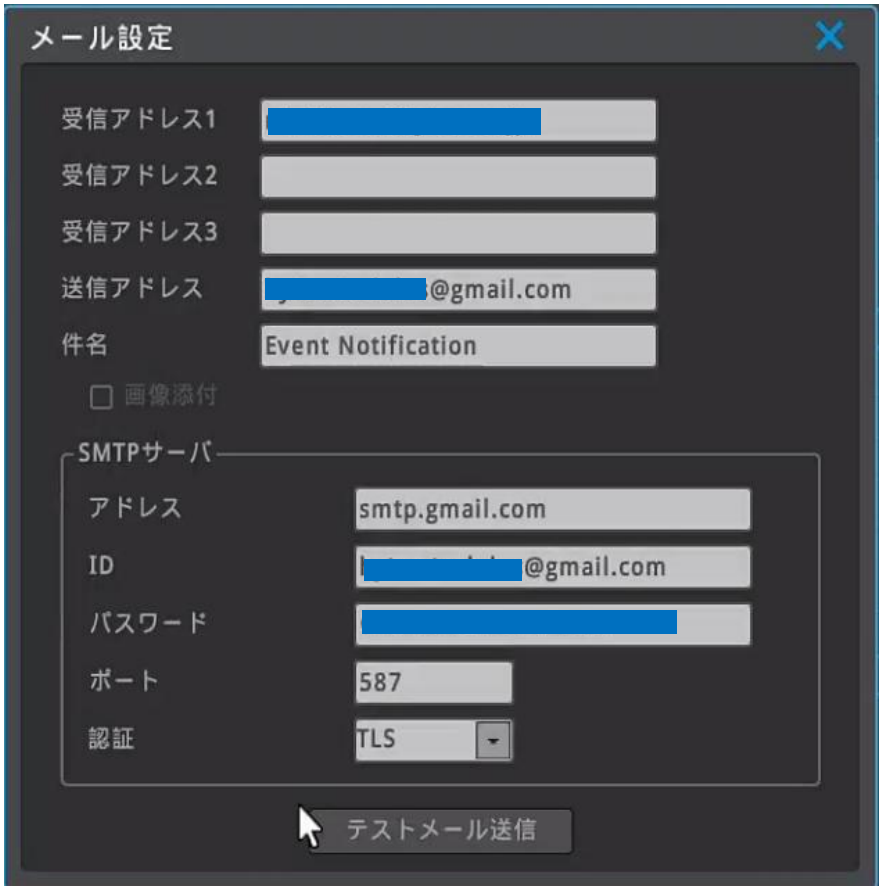
下図の例では、ch1～6 のカメラのモーション検知時にブザーを鳴らすように設定しています。

【アクション時間】

連動したアクションを継続するタイミングや継続時間を設定します。

【電子メール】

本製品のメール機能は G-mail のみ対応です。

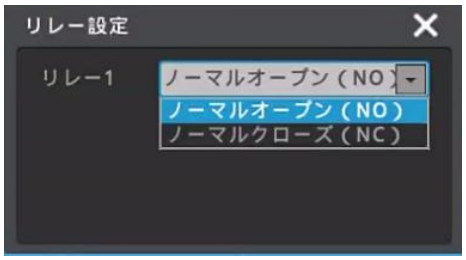


名称	説明
受信アドレス	メール通知を受け取るご使用のアドレスをお使いください。
送信アドレス	メール通知用の送信アドレスをご使用ください。(G-mail のみ対応)
件名	メールの件名を入力してご使用ください。
SMTP サーバ	メール送信は二段階認証でおこなう必要があります。 G-mail サーバで二段階認証を有効化し、アプリパスワードを作成してからご使用ください。 ・アドレス G-mail のサーバアドレスを入力してください。 ・ID G-mail のメールアドレスを入力してください。 ・パスワード メールサーバで作成したアプリパスワードを入力してください。

	・ポート [587]をご使用ください。 ・認証 [TLS]をご使用ください。
テストメール送信	各メールの設定が正しいかどうかのテストメールを送信します。

【リレー】

リレーを有効とする状態を設定できます。



ノーマルオープン(NO)：センサーがクローズした時に有効となります。

ノーマルクローズ(NC)：センサーがオープンとなった時に有効となります。

【ビデオロス】

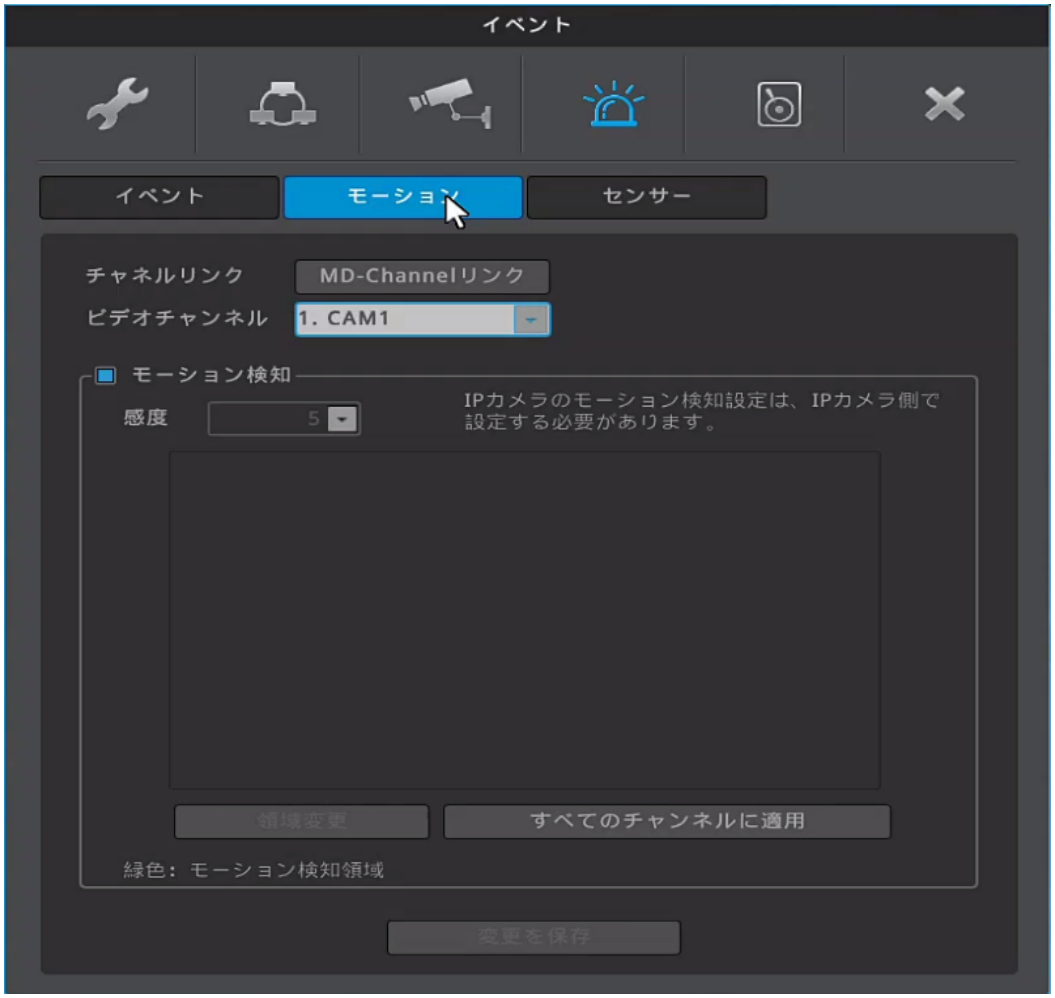
映像信号が途切れた場合のアクションを起こすタイミング時間を設定します。

【イベントハイライト】

本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.4.2. モーション

カメラからのモーション検知連携の有効・無効を設定します。



有効にする場合は、対象ビデオチャンネルを選択して、[モーション検知]にチェックを入れ[変更を保存]をクリックしてください。

すべてのチャンネルへの適用は、任意のビデオチャンネルを選択し、[モーション検知]にチェックを入れた後に[すべてのチャンネルに適用]をクリックしてください。
[変更を保存]をクリック後に適用が反映されます。
無効にする際は一つ一つのチャンネルを選択して、[モーション検知]のチェックを外して[変更を保存]をクリックします。

※　チャネルリンク、モーション検知の感度設定および領域変更は未サポートのためご利用になれません。

9.4.3. センサー

本製品またはカメラのセンサーの有効・無効を設定します。

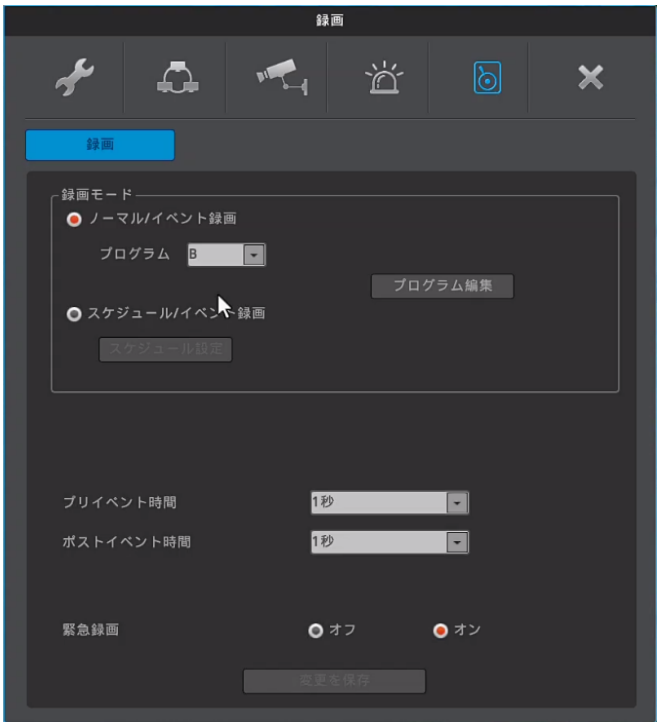
名称	説明
有効・無効チェック	有効にする場合はチャンネルのチェックボックスをオンにしてください。
タイプ	本製品のセンサーを有効にする場合は[後部パネル]を選択、カメラのセンサーを有効にする場合は[IP カメラ]を選択してください。 ※[同軸]は未サポートのためご利用になれません。
設定	ノーマルオープン(NO)：センサーがクローズした時に有効となります。 ノーマルクローズ(NC)：センサーがオープンとなった時に有効となります。 ※[炎検知器]、[UPS アラーム]、[サーマルディテクタ]は未サポートのためご利用になれません。
リモートセンサーデバイス	本機能は未サポートのためご利用になれません。

9.5. 録画

録画に関する設定をおこないます。

9.5.1. 録画モード

録画の画質設定、スケジュールの設定をおこないます。



【ノーマル/イベント録画】

録画の画質を設定できます。

[プログラム]の A～I までの 9 パターンの設定を保存できます。

状況にあわせて切り替えてご利用可能です。

〇ノーマル録画

本機能は録画設定を[一般録画]にした場合の設定になります。

設定は 9.1.5 章のセットアップウィザードよりご確認ください。

イベント等が発生していない場合の録画のフレームレートを設定します。

FPS は「録画なし」、「1」、「30」のいずれかを設定の上、ご利用ください。

〇イベント録画

イベント等が発生した場合の録画のフレームレートを設定します。

FPS は「録画なし」、「1」、「30」のいずれかを設定の上、ご利用ください。

※ノーマル時より高画質・高 FPS を設定する必要があります。

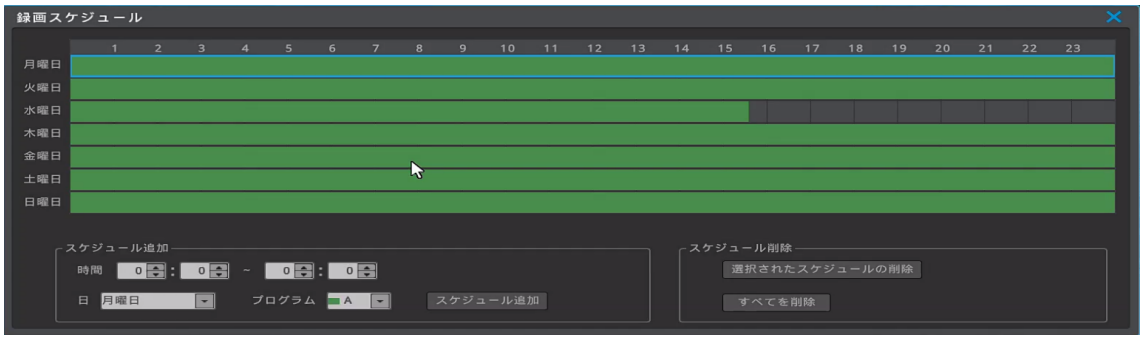
〇クイック設定

チャンネル 1 ～ 4 のすべてをまとめて設定することが可能です。

FPS は「録画なし」、「1」、「30」のいずれかを設定の上、ご利用ください。

【スケジュール/イベント録画】

各曜日で録画の有効・無効の時間帯設定が可能です。



プログラムに対応した色：有効、グレー：無効

〇設定方法

[スケジュール追加]より、適用したいプログラム、曜日、時間帯を選択して、

[スケジュール追加]ボタンをクリックします。

有効に登録済みの録画時間帯を無効にしたい場合は、一日分のスケジュールを一度削除してから録画必要な時刻を追加しなおしてください。

■プリイベント時間

イベントが発生する前の録画時間の設定をおこないます。

■ポストイベント時間

イベントが発生した後の録画時間の設定をおこないます。

■緊急録画

緊急録画の有効・無効を設定します。

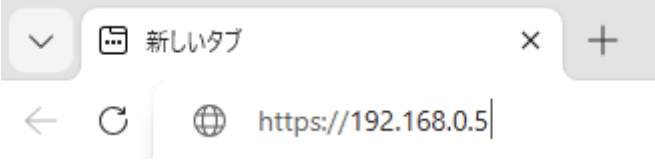
10. Web 管理画面

NVR と同じネットワークに所属する PC から Web ブラウザを使用して管理画面にアクセスできます。本機能ご利用の際には Microsoft Edge をご使用ください。

10.1. ログイン方法

① Microsoft Edge のアドレスバーに以下の URL を入力します。

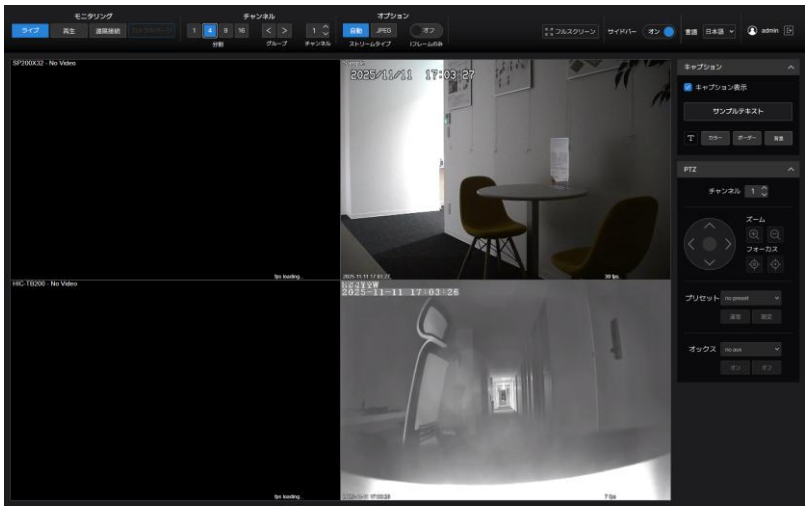
https://[NVR の IP アドレス]



② NVR に登録済みの ID とパスワードを入力します。

※言語は「日本語」をご使用ください。

③　以下のような画面が表示されればログイン成功となります。



10.2. ライブ

接続しているカメラのリアルタイム映像を確認することができます。

Web 管理画面の左上部より[ライブ]を選択してご利用ください。

10.2.1. チャンネル

カメラからの映像の表示チャンネル数や単一表示時の表示カメラ切り替え等をおこないます。

【メニューイメージ】

■分割

ライブ映像の表示カメラ数を切り替えます。

■グループ

ライブエリアに表示中の画面数より接続カメラ数が多い場合、

他の接続カメラを見るためのページ送りに使用します。

■チャンネル

単一映像表示の際の表示チャンネルを切り替えます。

10.2.2.　キャプション

ライブエリアの表示文字(キャプション)の設定をおこないます。

【メニューイメージ】

■キャプション

キャプション表示非表示を切り替えます。

オン：ライブエリアのカメラ映像左上にキャプション表示

オフ：ライブエリアのカメラ映像にキャプションを表示しない

※表示する文字列の設定は 9.3.1 章のデバイスでカメラの名称変更手順をご確認ください。

■カラー

キャプションの色を変更します。

■ボーダー

キャプションの縁取りの有無を設定します。

■背景

キャプションの背景の色合いを変更します。

※1 [カラー]、[ボーダー]、[背景]変更後イメージは各メニュー直上のサンプルで確認できます。

※2 [カラー]、[ボーダー]の色調指定について、HSL 形式は未サポートとなります。

10.2.3.　PTZ

PTZ カメラのみの機能となります。

NVR から PTZ 操作が可能です。

※PTZ カメラでも NVR との相性でご使用になれない場合があります。

【メニューイメージ】

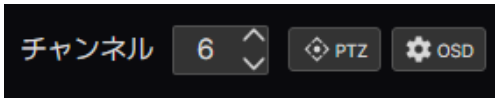
■チャンネル

PTZ 操作対象のカメラチャンネルを指定します。

PTZ カメラを指定してください。

※PTZ 操作可能な場合、チャンネルの横に四角と歯車のマークが表示されます。

【操作可能 PTZ カメラチャンネルの場合のマーク】



■カーソル

パン・チルト方向の操作をおこないます。

■フォーカス

フォーカスを合わせます。

■ズーム

ズームイン・ズームアウトの操作をおこないます。

■プリセット選択

PTZ カメラのプリセット位置を選択できます。

[運営]ボタン：プリセット位置に移動します。

[設定]ボタン：現在のカメラの画角をプリセット位置に上書き登録できます。

■オックス選択

本機能は未サポートのためご使用になれません。

10.2.4.　オプション

その他の設定をおこないます。

【メニューイメージ】

■I フレームのみ

本機能は未サポートのためご使用になれません。

■デジタルズーム

映像のデジタルズームのオン・オフ切り替えをおこないます。

オンにした場合はマウスのホイールを上に回すことでズームイン、下に回すとズームアウトできます。

■AI 表示

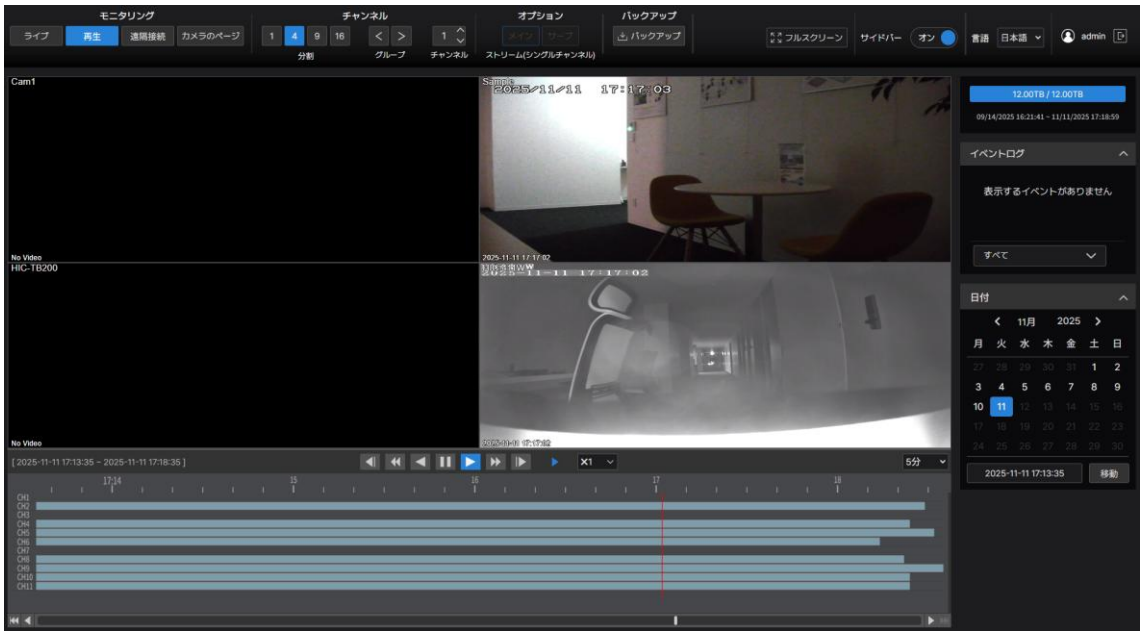
本機能は未サポートのためご使用になれません。

10.3. 再生

HDD に録画した映像を再生できます。

Web 管理画面の左上部より[再生]を選択してご利用ください。

【Web 管理画面イメージ】



10.3.1.　録画再生

録画したデータを再生・コマ送り、逆再生等で確認できます。

■再生・逆再生

右向き三角で通常再生、左向き三角で逆再生をおこないます。

■一時停止

再生中の映像を一時停止します。

■再生速度変更

赤枠のエリアから再生速度を選択します。

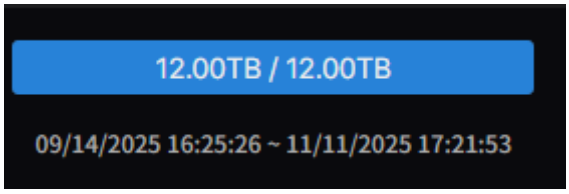
■コマ送り

通常再生方向へのコマ送り、逆再生方向へのコマ送りして映像を確認できます。

10.3.2.　録画状況確認

HDD の容量や録画開始・終了時点を表示します。

【表示イメージ】

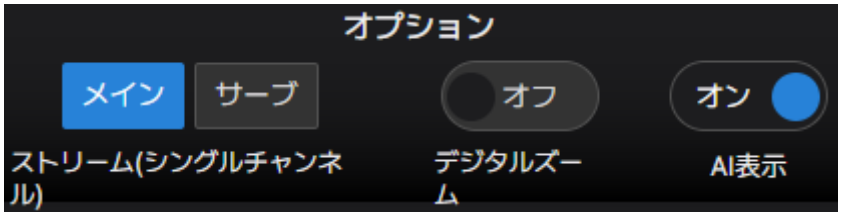


10.3.3.　オプション

シングルチャンネル表示の際に使用する機能になります。

※シングルチャンネル切り替えは 10.2.1 章をご確認ください。

【メニューイメージ】



■ストリームタイプ

表示する映像をメインストリーム（メイン）かサブストリーム（サーブ）かを選択できます。

■デジタルズーム

映像のデジタルズームのオン・オフ切り替えをおこないます。

オンにした場合はマウスのホイールを上に回すことでズームイン、下に回すとズームアウトできます。

■AI 表示

本機能は未サポートのためご使用になれません。

10.3.4.　チャンネル

録画映像の表示チャンネル数や単一表示時の表示カメラ切り替え等をおこないます。

【メニューイメージ】

■分割

ライブ映像の表示カメラ数を切り替えます。

■チャンネル

単一映像表示の際の現在表示チャンネルの番号を表示します。

10.3.5.　日付、時刻選択

映像を確認したい録画日時を選択できます。

カレンダーで日付を選択した後、時刻と表示時間帯を選択して使用します。

【カレンダーイメージ】

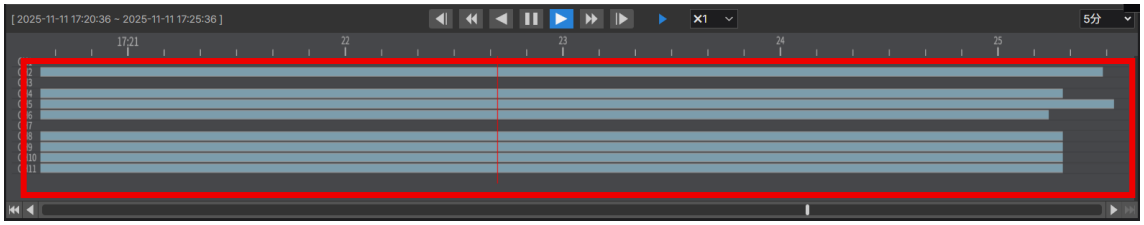
【時刻選択メニューイメージ】

【手順】

① カレンダーから視聴したい録画データがある日付を選択します。
※録画データがない日付は選択できません。

② 時刻選択メニューで視聴したい時刻、選択時刻からの表示時間帯を選択して[移動]ボタンを押下します。

③ ライブエリアの下部の録画時間帯が①、②で選択した時間帯に変更されます。
（以下、タイムスライスエリアと表示）
タイムスライスエリア上をダブルクリックして、任意の時刻から動画再生をすることができます。動画再生のボタンは 10.3.1 章をご確認ください。



10.4. 遠隔接続

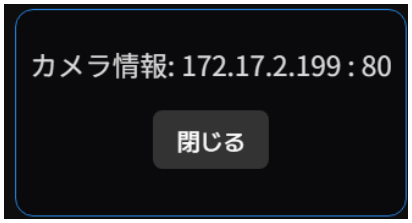
NVR に接続したモニタを Web 管理画面から操作する手順となります。
各機能の操作手順は「5～9 章」と同じため、5～9 章を参照の上ご利用ください。

10.5. IP カメラ管理画面表示

9.2.2 章で[中継カメラ Web ページ]を有効にしてご利用ください。

① ライブ画面にて管理画面に接続したいカメラを単一画面表示します。
② [カメラのページ]が有効になるので、クリックします。
③ カメラの Web 管理画面用 ID/パスワードを入力します。

終了の際は表示したカメラの Web 管理画面の右上の×印を押下し、
カメラ情報のポップアップを[閉じる]で閉じてください。



10.6. その他

■サイドバー

[ライブ]と[再生]のメニュー(サイドバー)は表示と非表示(隠す)を切り替えることが可能です。
ライブエリアを広くしたい場合等、ご使用状況に応じてサイドバー表示・非表示を切り替えてご使用ください。

■接続

操作がない状態で一定時間経過すると Web 管理画面とお使いの PC のセッションが切れます。
操作を再開する場合は、Web ブラウザを更新してご利用ください。

11.　製品仕様

製品				
製品名		HNR-WG004	HNR-WG008	HNR-WG016
製品カテゴリ		ネットワーク・ビデオ・レコーダ		
I/F				
映像		HDMI : 1 / VGA : 1		
IP カメラ接続数		4	8	16
音声	ローカル入力	1(RCA)※1		
	ローカル出力	1(RCA)		
	カメラ入力	4	8	16
	圧縮方式	G.711u		
USB2.0		1 (フロント) / 1 (リア)		
LAN		1 (10/100Mbps)	1 (10/100/1000Mbps)	
PoE ポート		4(IEEE802.3af) 合計最大 46W	8(IEEE802.3af) 合計最大 59W	16(IEEE802.3af) 合計最大 156W
センサー入力		4	8	
アラーム出力※2		1		
録画用 HDD		4TB(オプション)	6TB(オプション)	12TB(オプション)
RAID		非対応		
ライブ				
HDMI 解像度		4K, 1080p		
VGA 解像度		1920×1080, 1280×1024, 1024×768		
分割数		1/2/4	1/2/4/6/9	1/2/4/6/9/13/16
その他の機能		緊急録画、静止画キャプチャ保存、インスタント再生、デジタルズーム、カメラ調整、PTZ 制御、双方向通話、チャンネル巡回表示		
録画/再生				
画像圧縮方式		H.264, H.265		
録画方式		デュアルストリーム録画		
録画解像度	メイン	720p ～ 4K		
	サブ	D1		
録画モード		連続、イベント(動体検知)、スケジュール録画		
検索モード		サムネイル、カレンダー、イベント、ブックマーク		
再生速度		1/16x, 1/8x, 1/4x, 1/2x, 1x, 2x, 4x, 8x, 16x, 32x, 64x		
同時再生チャンネル数		4ch	8ch	16ch
録画イベント		手動、モーション		

バックアップ			
バックアップデバイス	USB デバイス(フラッシュメモリー)		
バックアップファイル	AVI, MP4, EXE		
アラーム			
モード	センサー、モーション、ビデオロス、HDD エラー、パスワードエラー		
アラーム連携	ブザー、電子メール、ポップアップ、プリセット移動		
ネットワーク			
プロトコル	TCP/IP, IPv4, DHCP, DNS, NTP, SMTP, RTSP, HTTP, HTTPS, ONVIF S		
最大受信ビットレート	40Mbps	80Mbps	96Mbps
最大配信ビットレート	78Mbps		
最大ログインユーザ	10		
最大 RTSP クライアント数	8	16	32
セキュリティ			
セキュリティ	ユーザ権限設定、自動ロック・ログアウト、パスワードログイン、オンラインユーザ表示		
その他			
操作方法	USB マウス		
電源電圧	DC 48V		
消費電力（HDD、PoE 除く）	最大 8.2W	最大 8W	最大 10.9W
動作温度/湿度	0℃ ～ 40℃ ／ 90% 以下（結露なきこと）		
寸法 mm（突起部除く）	300(W)×209(D)×49(H)mm		378(W)×317.4(D)×51(H)mm
重量（HDD 除く）	1kg	1.1kg	2.3kg
製品保証期間	1 年間		

※1：音声入力コネクタは双方向通話用です。

※2：アラーム入出力は無電圧接点です。

12. 通信ポートと使用目的

本製品の LAN ポートで使用する主な受信ポートは以下のとおりです。使用する機能とネットワーク構成に応じて、必要な通信のみを許可してください。

プロトコル	ポート番号（初期値）	使用目的	工場出荷時の状態
TCP／HTTPS	443	Web ブラウザによる管理画面へのアクセス	有効
TCP／HTTP	80	暗号化されていない Web アクセス	無効
TCP／RTSP	554	クライアントへの映像ストリーム配信	有効
UDP／独自プロトコル	8404	Network Upgrader による NVR の自動検索	無効

UDP Discover について

「UDP Discover」は、Network Upgrader からネットワーク上の本製品を自動検索するための機能です。初期設定では無効です。自動検索を使用する場合に有効にしてください。

安全に使用するための注意

Web 管理には、初期設定の HTTPS を使用してください。HTTP では通信が暗号化されないため、有効にすると通信内容を盗聴されるおそれがあります。
また、RTSP など暗号化されない通信を使用する場合は、VPN や専用線等の保護された通信環境内で使用してください。

13. セキュリティに関するご注意

本製品を安全にご利用いただくため、設置、設定、運用、譲渡および廃棄の際には、以下を実施してください。

1. 安全な設定

- 初回設定時に、管理者パスワードを変更してください。
- 他の機器やサービスと同一のパスワードを使用しないでください。
- 管理画面へアクセスできるユーザを必要最小限にしてください。
- 使用しないアカウント、サービスおよび通信ポートは無効にしてください。
- 管理画面へは HTTPS 等の暗号化通信を使用してアクセスしてください。
- 本製品をインターネットへ直接公開する場合は、ファイアウォール、VPN 等によりアクセスを制限してください。

2. 安全な運用

- ファームウェアは、当社が提供する最新バージョンへ更新してください。
- 管理者アカウントおよび登録ユーザを定期的に見直し、不要なアカウントは削除してください。
- 本製品および接続先ネットワークは、権限のない者が物理的またはネットワーク経由でアクセスできないよう管理してください。
- 設定情報をバックアップする場合は、アクセス権を管理した安全な場所に保管してください。

3. 譲渡・廃棄時

本製品を譲渡、返却または廃棄する前に、本書に記載された初期化及びデータ消去の手順に従い、設定情報、認証情報、ログ及び保存データを消去してください。
初期化で消去される情報の範囲は、本書の初期化手順を確認してください。初期化では消去されないデータがある場合は、別途、所定の方法で消去してください。
記録媒体を使用している場合は、その媒体に保存されたデータも消去してください。データの復元を防ぐ必要がある場合は、専用のデータ消去サービスや物理的な破壊など、適切な方法で処理してください。
廃棄する際は、関連法令及び自治体のルールに従ってください。

14. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

15. 製品保証

◆　故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1)　修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2)　本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3)　故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4)　弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

◆　保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1)　使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2)　自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3)　本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆　保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆　一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆　本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆　修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆　本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社　カスタマサポート

受付時間：　平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）　9:00～17:00

TEL：　0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

Copyright © 2026

HYTEC INTER Co., Ltd.